

# 芦屋市将来人口推計報告書

平成22年3月

芦 屋 市

# 目 次

はじめに.....	1
第1章 本市の人口動向 .....	2
第2章 推計の方法と仮定 .....	4
2 - 1 推計条件 .....	4
2 - 2 推計方法 .....	5
(1) コーホート要因法 .....	5
(2) 推計の基準年 .....	6
(3) 推計要因の設定値 .....	7
第3章 推計結果 .....	12
3 - 1 本市の将来推計人口 .....	12
(1) 総人口の推移 .....	12
(2) 人口ピラミッド .....	13
(3) 年齢3区分別将来推計人口 .....	14
3 - 2 小学校区別将来推計人口 .....	16
(1) 山手小学校区 .....	16
(2) 岩園小学校区 .....	18
(3) 朝日ヶ丘小学校区 .....	20
(4) 精道小学校区 .....	22
(5) 宮川小学校区 .....	24
(6) 打出浜小学校区 .....	26
(7) 浜風小学校区 .....	28
(8) 潮見小学校区（南芦屋浜地区を除く） .....	30
(9) 南芦屋浜地区 .....	32
第4章 今後の課題 .....	34

# はじめに

平成 17 年（2005 年）4 月の将来人口推計では、本市の人口は平成 22 年（2010 年）に 100,000 人に達した後も増加するが、平成 32 年（2020 年）の 104,000 人をピークに減少傾向に転じると見込んでいた。

しかし、平成 21 年（2009 年）10 月現在の推計人口は 93,305 人と 95,000 人にも到っておらず、近年では増加傾向も緩やかになってきており、小学校区によっては減少に転じているところもある。

このようなことから、平成 23 年度（2011 年度）から計画期間が始まる第 4 次芦屋市総合計画を策定するに当たり、今後の人口動向を見据えた行政運営の基礎的な指標として活用するため、直近の状況を反映した将来人口の推計を行ったものである。

平成 22 年（2010 年）3 月

## 第1章 本市の人口動向

本市の人口は、芦屋浜シーサイドタウンの入居開始に伴い、昭和54年（1979年）から55年（1980年）にかけて急激に増加し、その後も人口増加を続け、昭和63年（1988年）では88,623人となった。しかし、これをピークに徐々に減少してきていたが、平成7年（1995年）の阪神・淡路大震災によって75,032人まで激減した。

その後、震災復興の市街地整備や住宅整備・住宅開発によって、平成11年（1999年）から平成12年（2000年）にかけては7.8%の増加率で人口は着実に増加し、平成14年（2002年）には震災前の人口まで回復した。その後、平成16年（2004年）以降は人口増加率が低下して緩やかな増加傾向となり、平成21年（2009年）では93,305人となっている。

平成11年（1999年）から平成16年（2004年）までの人口増加は、住宅の復興と地価の下落や企業等の所有土地（非事業用地・低未利用地など）の処分等によるマンション供給の拡大とともに、国等の住宅取得支援制度の充実などによって住宅取得が容易となったことなどが影響していると考えられる。

一方、平成16年（2004年）以降の人口増加率の低下は、マンション供給用地の減少や住宅市場の低迷、景気の悪化による住宅購入意欲の減退などが影響しており、現在開発中の南芦屋浜地区を除くと当面は本市の住宅供給の増大は見込めず、人口の増大を予想し難い状況となっているといえる。

グラフ1：本市の人口推移

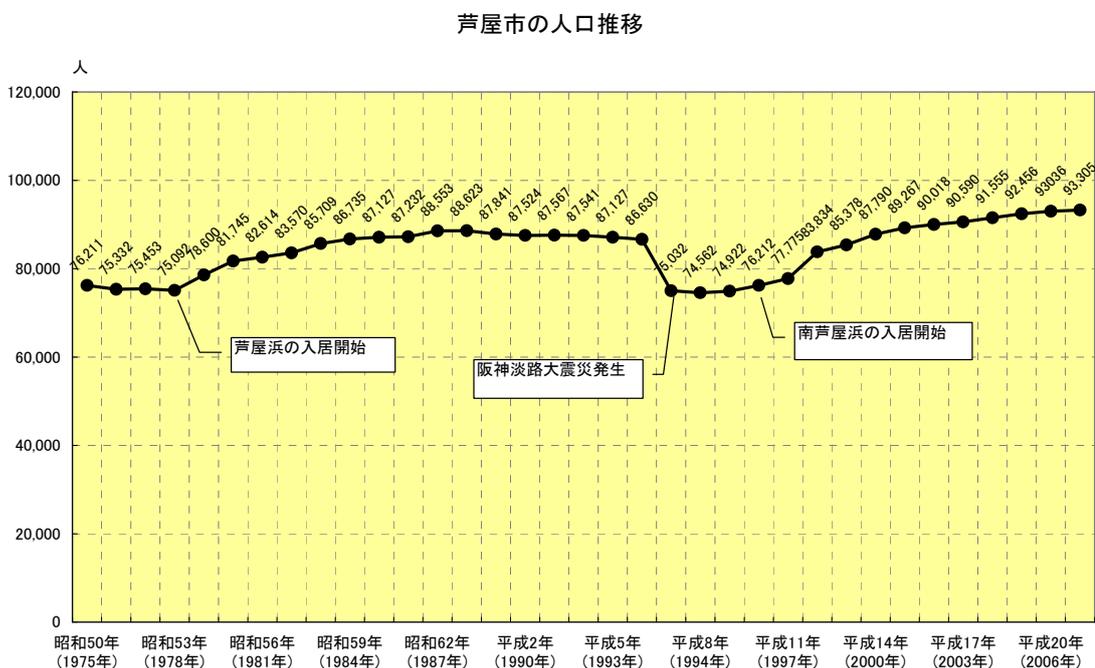


表1：本市の人口推移

年	人口(人)	人口増加率(%)	備考	年	人口(人)	人口増加率(%)	備考
昭和50年(1975年)	76,211	0.6	第12回国勢調査	平成5年(1993年)	87,127	0.5	推計人口(10.1)
51年(1976年)	75,332	1.2	推計人口(10.1)	6年(1994年)	86,630	0.6	推計人口(10.1)
52年(1977年)	75,453	0.2	推計人口(10.1)	7年(1995年)	75,032	13.4	第16回国勢調査
53年(1978年)	75,092	0.5	推計人口(10.1)	8年(1996年)	74,562	0.6	推計人口(10.1)
54年(1979年)	78,600	4.7	推計人口(10.1)	9年(1997年)	74,922	0.5	推計人口(10.1)
55年(1980年)	81,745	4.0	第13回国勢調査	10年(1998年)	76,212	1.7	推計人口(10.1)
56年(1981年)	82,614	1.1	推計人口(10.1)	11年(1999年)	77,775	2.1	推計人口(10.1)
57年(1982年)	83,570	1.2	推計人口(10.1)	12年(2000年)	83,834	7.8	第17回国勢調査
58年(1983年)	85,709	2.6	推計人口(10.1)	13年(2001年)	85,378	1.8	推計人口(10.1)
59年(1984年)	86,735	1.2	推計人口(10.1)	14年(2002年)	87,790	2.8	推計人口(10.1)
60年(1985年)	87,127	0.5	第14回国勢調査	15年(2003年)	89,267	1.7	推計人口(10.1)
61年(1986年)	87,232	0.1	推計人口(10.1)	16年(2004年)	90,018	0.8	推計人口(10.1)
62年(1987年)	88,553	1.5	推計人口(10.1)	17年(2005年)	90,590	0.6	第18回国勢調査
63年(1988年)	88,623	0.1	推計人口(10.1)	18年(2006年)	91,555	1.1	推計人口(10.1)
平成元年(1989年)	87,841	0.9	推計人口(10.1)	19年(2007年)	92,456	1.0	推計人口(10.1)
2年(1990年)	87,524	0.4	第15回国勢調査	20年(2008年)	93,036	0.6	推計人口(10.1)
3年(1991年)	87,567	0.0	推計人口(10.1)	21年(2009年)	93,305	0.3	推計人口(10.1)
4年(1992年)	87,541	0.0	推計人口(10.1)				

注：推計人口は、国勢調査における確定数を基礎とし、その後毎月住民基本台帳法及び外国人登録法に基づく当該月間の移動数の報告を受け、その報告を集計したものである

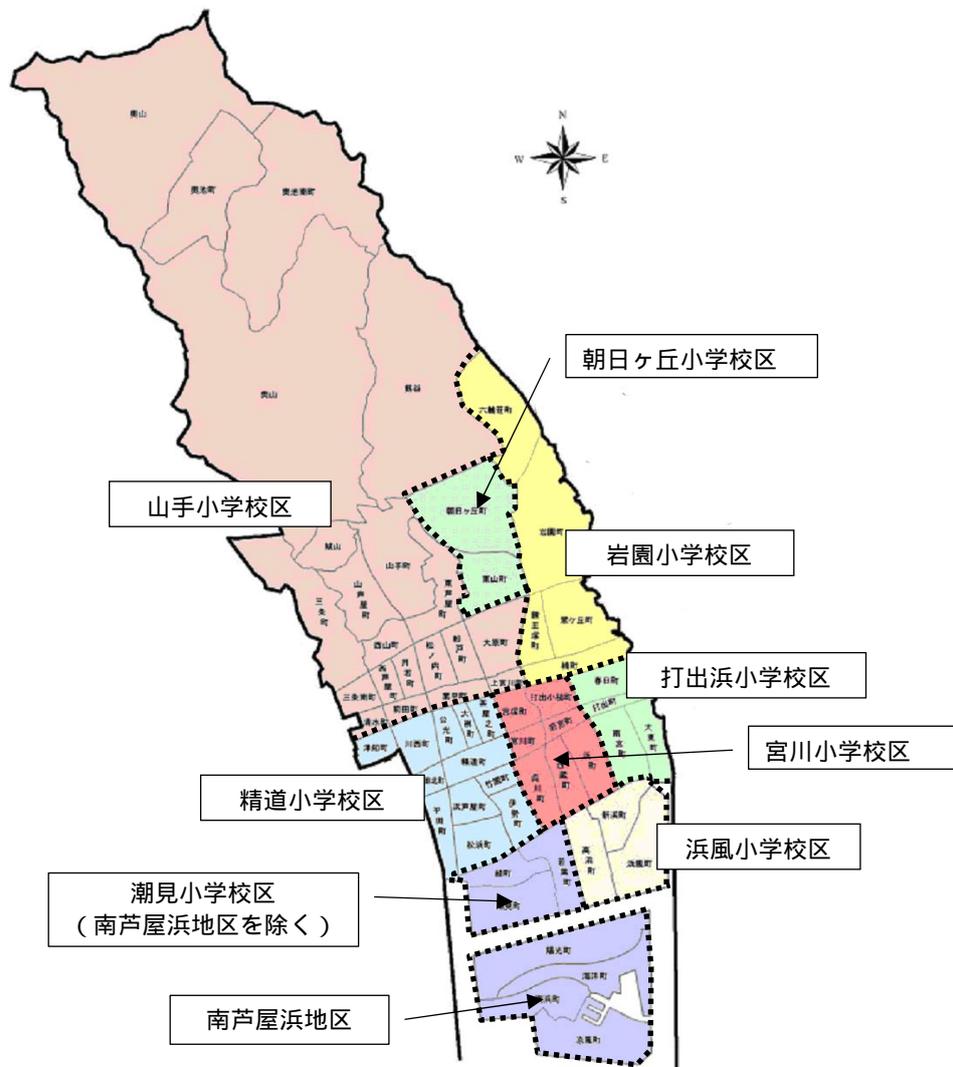
資料：芦屋市統計書（国勢調査，推計人口各年10月1日）

## 第2章 推計の方法と仮定

### 2 - 1 推計条件

- ・基準年：平成17年（2005年）
- ・推計期間：平成22年（2010年）から平成42年（2030年）まで（5年ごとに推計）
- ・基準人口：小学校区別・男女別・5歳年齢別人口（平成17年10月1日 国勢調査）
- ・対象地域：小学校区別及び市全体  
（潮見小学校区のうち、南芦屋浜地区は独立した区域として別途推計）

図1：本市の小学校区



## 2 - 2 推計方法

### (1) コーホート要因法

過去の人口動向の傾向を踏まえながら、本市の今後の住宅開発動向を勘案した人口推計が望ましいことから、本市における将来の社会増減の想定を含むコーホート要因法を採用した。

本市の近年における人口増加は、阪神・淡路大震災の復興による住民のUターンと大規模マンション開発等を要因とする社会増が主たるものと考えられる。このような人口増加の要因が今後も同様に発生するとは想定し難いため、過去の人口動向の傾向を将来の人口動向と同じと見なして推計するコーホート変化率法は採用していない。

コーホート要因法とは

各年齢層の人口集団を年次的に捉え、その変化量、変化率を用いる方法をコーホート法といい、人口変化要因として、「生残率」、「移動」、「出生」、「出生男女比」の4つについてそれぞれの将来値を設定し、各男女別年齢別の人口を推計する方法である。

注：コーホート＝同年（同期間）に出生した集団（例：20～24歳の人口集団）

#### 5歳～9歳以上の5歳年齢別人口の推計

基準年 = t

$$\text{式 } \boxed{t+5 \text{ 年の年齢別人口}} \\ = t \text{ 年の年齢別人口} \times \{ \boxed{\text{生残率}} (t \text{ 年から } t+5 \text{ 年}) + \text{移動率} (t \text{ 年から } t+5 \text{ 年}) \}$$

$$\text{式 } \boxed{t \text{ 年から } t+5 \text{ 年の年齢別移動数}} \\ = (t+5 \text{ 年の年齢別実人口}) - (t+5 \text{ 年の封鎖年齢別人口})$$

注：封鎖人口＝生残率のみを変化要因とする推計人口

$$\text{式 } \boxed{t \text{ 年から } t+5 \text{ 年の移動率}} \\ = t+5 \text{ 年の年齢別移動数} \div t \text{ 年の年齢別人口}$$

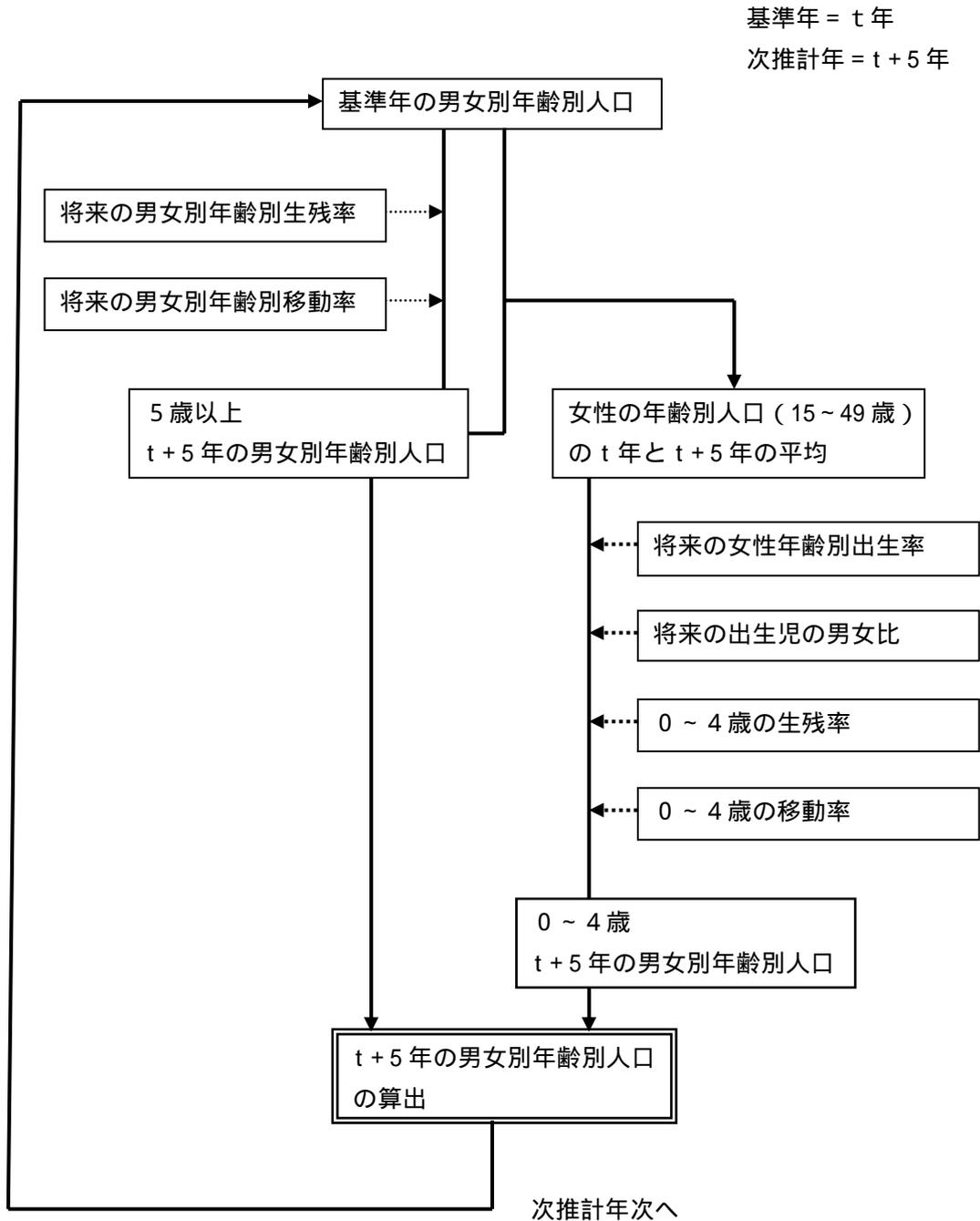
#### 0歳～4歳人口の推計

$$\text{式 } \boxed{t \text{ 年から } t+5 \text{ 年の男女別出生数}} \\ = \text{母の年齢別人口} \times \text{母の年齢別出生率} (5 \text{ 年間}) \times \text{出生男女比}$$

$$\text{0歳～4歳人口} \\ = \text{男女別出生数} \times \text{生残率} (t \text{ 年から } t+5 \text{ 年}) \times \text{移動率} (t \text{ 年から } t+5 \text{ 年})$$

$$\text{総人口} = \boxed{5 \text{ 歳～9 歳以上の 5 歳年齢別人口の推計}} + \boxed{0 \text{ 歳～4 歳人口の推計}}$$

図 2：コーホート要因法の全体推計フロー



(2) 推計の基準年

推計に使用する各種統計資料の年次と推計期間の年次が最も適合し、データの信頼度も高く、各種計画の基礎データとしても採用されているため、国勢調査人口を基準とし、基準年は最新の平成 17 年（2005 年）とする。

## (3) 推計要因の設定値

## 生残率

生残率は、『日本の都道府県別将来推計人口』（平成19年5月推計）（国立社会保障・人口問題研究所編集 財団法人厚生統計協会発行）の兵庫県版データを使用する。

表 2：男女・年齢（5歳階級）別生残率

(28) 兵庫

期首年齢→ 期末年齢	男女・年齢(5歳階級)別生残率					
	平成17～22年 (2005～2010)	平成22～27年 (2010～2015)	平成27～32年 (2015～2020)	平成32～37年 (2020～2025)	平成37～42年 (2025～2030)	平成42～47年 (2030～2035)
男						
出生→0～4	0.99683	0.99709	0.99733	0.99753	0.99769	0.99782
0～4→5～9	0.99903	0.99912	0.99920	0.99925	0.99930	0.99934
5～9→10～14	0.99949	0.99955	0.99958	0.99961	0.99963	0.99965
10～14→15～19	0.99886	0.99890	0.99897	0.99902	0.99907	0.99911
15～19→20～24	0.99739	0.99749	0.99761	0.99772	0.99781	0.99789
20～24→25～29	0.99676	0.99690	0.99702	0.99712	0.99721	0.99729
25～29→30～34	0.99653	0.99664	0.99674	0.99683	0.99690	0.99696
30～34→35～39	0.99551	0.99567	0.99581	0.99593	0.99602	0.99610
35～39→40～44	0.99336	0.99372	0.99400	0.99423	0.99441	0.99457
40～44→45～49	0.98953	0.99032	0.99085	0.99129	0.99166	0.99196
45～49→50～54	0.98304	0.98448	0.98549	0.98631	0.98699	0.98756
50～54→55～59	0.97302	0.97511	0.97666	0.97800	0.97915	0.98014
55～59→60～64	0.95923	0.96207	0.96395	0.96556	0.96696	0.96818
60～64→65～69	0.93934	0.94342	0.94643	0.94888	0.95090	0.95259
65～69→70～74	0.90253	0.90936	0.91513	0.91998	0.92407	0.92753
70～74→75～79	0.84417	0.85586	0.86432	0.87143	0.87744	0.88261
75～79→80～84	0.75308	0.77251	0.78596	0.79725	0.80674	0.81479
80～84→85～89	0.61628	0.64229	0.66179	0.67865	0.69317	0.70573
85～→90～	0.37703	0.39767	0.41285	0.42625	0.43811	0.44870
女						
出生→0～4	0.99706	0.99722	0.99744	0.99762	0.99777	0.99790
0～4→5～9	0.99919	0.99924	0.99930	0.99935	0.99939	0.99942
5～9→10～14	0.99953	0.99955	0.99959	0.99961	0.99964	0.99966
10～14→15～19	0.99927	0.99929	0.99933	0.99937	0.99940	0.99943
15～19→20～24	0.99862	0.99871	0.99878	0.99883	0.99888	0.99893
20～24→25～29	0.99846	0.99859	0.99866	0.99871	0.99876	0.99881
25～29→30～34	0.99818	0.99830	0.99838	0.99845	0.99851	0.99856
30～34→35～39	0.99747	0.99764	0.99775	0.99785	0.99793	0.99800
35～39→40～44	0.99651	0.99676	0.99691	0.99703	0.99714	0.99723
40～44→45～49	0.99493	0.99534	0.99558	0.99578	0.99594	0.99608
45～49→50～54	0.99225	0.99288	0.99327	0.99359	0.99385	0.99408
50～54→55～59	0.98818	0.98901	0.98955	0.99001	0.99040	0.99074
55～59→60～64	0.98271	0.98389	0.98462	0.98522	0.98572	0.98616
60～64→65～69	0.97412	0.97611	0.97758	0.97878	0.97978	0.98061
65～69→70～74	0.95771	0.96126	0.96397	0.96621	0.96810	0.96971
70～74→75～79	0.92593	0.93278	0.93765	0.94168	0.94508	0.94800
75～79→80～84	0.86614	0.87823	0.88771	0.89556	0.90218	0.90783
80～84→85～89	0.75968	0.77958	0.79506	0.80812	0.81930	0.82901
85～→90～	0.48091	0.49761	0.51107	0.52267	0.53277	0.54171

### 移動率

男女別・5歳年齢別移動率の設定に当たっては、基準年の平成17年(2005年)国勢調査人口と基準年の5年前の平成12年(2000年)国勢調査人口から算出するのが基本であるが、できるだけ最新の傾向を反映させるため、「平成21年(2009年)10月1日現在の住民基本台帳人口と外国人登録人口」(男女別・5歳年齢別)と5年前の「平成16年(2004年)10月1日現在の住民基本台帳人口と外国人登録人口」(男女別・5歳年齢別)のデータから算出し、今回の推計で採用する移動率とする。

人口が移動する要因としては、「結婚等による世帯分離」、「高齢化による住まい方の変化」、「転勤」、「出産による世帯人数の増加」、「子育てや教育環境の選択」、「住宅の供給状況」などが考えられるが、本市においては「住宅の供給状況」が特に重要となっている。前回推計では市内で活発な住宅開発が進行中ではあるが、将来に渡って同様な人口増加が継続しないとの判断で移動率を補正したが、最近2,3年の人口傾向としては比較的落ち着いてきており、今後も急激な人口増加を想定できないことから移動率の補正は行わないこととする。

#### <前提条件>

- ・ 移動率は平成16年(2004年)から平成21年(2009年)までの5年間で算定するものとする。
- ・ 使用する人口データは、「平成21年(2009年)10月1日現在の住民基本台帳人口と外国人登録人口」(男女別・5歳年齢別)と5年前の「平成16年(2004年)10月1日現在の住民基本台帳人口と外国人登録人口」(男女別・5歳年齢別)を小学校区別に集計して使用する。
- ・ 使用する生残率は、『日本の都道府県別将来推計人口』(平成19年5月推計)(国立社会保障・人口問題研究所編集 財団法人厚生統計協会発行)の兵庫県版データの平成17年(2005年)～平成22年(2010年)を使用する。
- ・ 使用する出生率も、『日本の都道府県別将来推計人口』(平成19年5月推計)(国立社会保障・人口問題研究所編集 財団法人厚生統計協会発行)の兵庫県版データの平成17年(2005年)～平成22年(2010年)を使用する。
- ・ 使用する出生児男女比は、平成19年(2007年)の本市の値を使用する。

#### <算定方法>

平成16年(2004年)の人口に生残率と出生率を乗じ、封鎖型推計の平成21年(2009年)を算出する。想定平成21年(2009年)人口と実績平成21年(2009年)人口との差が移動量であり、これを当該年齢区分ごとに平成16年(2004年)人口を母数として算出したものが移動率である。

小学校区別設定移動率の算定式；

(平成 21 年 (2009 年) 男女別・5 歳年齢別人口 - 平成 16 年 (2004 年) 男女別・5 歳年齢別人口  
基準の平成 21 年 (2009 年) 封鎖型推計人口) ÷ 平成 16 年 (2004 年) 男女別・5 歳年齢別人口

< 移動率の算定の手順 >

- 1) 基準年の小学校区別・男女別・5 歳年齢別人口から封鎖型人口推計 (生残率, 出生率, 出生児男女比を使用) を行い, 5 年後の小学校区別・男女別・5 歳年齢別人口を算出する。
- 2) 基準年と 5 年後との人口数の差を, 転入, 転出結果の増減数として仮定する。
- 3) 基準年の男女別・5 歳年齢別人口で, 増減数を割ったものを移動率とする。
- 4) 但し, 小学校区別に生残率を用いて計算するため, 実際の生残数と大きな誤差が生じる場合があるのでその場合は補正を行う。

打出浜, 浜風, 潮見小学校区の 80~84 歳が 85 歳以上となる場合で, 大きなプラス値やマイナス値になったため, 75~79 歳が 80~84 歳となる場合と同率と仮定した。

表 3 : 移動率 (平成 16 年 (2004 年) ~ 平成 21 年 (2009 年) 実績)

小学校区	山手		岩園		朝日ヶ丘町		精道		宮川	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
出生→0~4歳	0.0332410	0.15896	0.262976	0.187755	0.131086	0.054795	0.142433	0.133956	0.208075	0.098039
0~4歳→5~9歳	0.0559010	0.1469650	0.2124540	0.1192660	-0.0960700	-0.0092590	-0.0415090	-0.0107140	0.0306510	-0.1111110
5~9歳→10~14歳	0.1185900	0.1709680	0.0843370	0.0680850	0.0140190	0.0277780	-0.0322580	0.0528630	0.0607480	0.0663270
10~14歳→15~19歳	0.0677970	0.1783920	0.1086960	0.0454550	0.1389830	-0.0331750	0.0337650	0.0987650	0.1115540	0.0966180
15~19歳→20~24歳	-0.0437790	0.0563640	-0.0338350	0.0546620	-0.2128380	-0.0560000	0.2087230	0.1853930	0.1837460	0.1141980
20~24歳→25~29歳	-0.0469920	0.0420620	-0.0138410	0.0852710	-0.3647540	-0.0714290	0.0695880	0.1417170	0.0114680	0.0356350
25~29歳→30~34歳	-0.0122320	0.0105760	0.1513650	0.1330800	-0.0334190	0.0611350	0.0871990	0.1344410	-0.0514290	0.1124570
30~34歳→35~39歳	0.0630630	0.1197980	0.1505380	0.1811460	0.0326090	-0.0222220	-0.0019230	-0.0382510	0.0374450	0.1046510
35~39歳→40~44歳	0.1120130	0.0648800	0.1704550	0.1210760	0.0170940	0.0050630	0.0022620	0.0441770	0.0343010	-0.0081080
40~44歳→45~49歳	0.1115240	0.1229240	-0.0027620	0.0656170	-0.0531560	-0.0416670	0.0400000	0.0220590	0.0739550	0.1002870
45~49歳→50~54歳	0.0436240	0.0338290	0.0283290	0.0958900	-0.0472970	-0.0201150	0.0241550	0.0406320	0.0350400	-0.0047850
50~54歳→55~59歳	0.0364660	0.0077260	0.0601500	0.0350880	0.0156250	-0.0128210	0.0177780	0.0499000	0.0026180	-0.0066080
55~59歳→60~64歳	0.0375590	-0.0504770	0.0638300	-0.0046730	-0.0190840	0.0118340	0.0406500	0.0439020	-0.0584420	0.0515460
60~64歳→65~69歳	-0.0661630	-0.0254870	0.0157730	0.0259430	-0.0456430	0.0339510	-0.0401340	-0.0055710	0.0676160	0.0146200
65~69歳→70~74歳	0.0145230	-0.0097720	0.0219780	-0.0204600	-0.0044840	-0.0731710	-0.0361010	-0.0086210	-0.0219300	0.0064310
70~74歳→75~79歳	0.0212770	0.0096530	-0.0083330	0.0000000	0.0581400	-0.0405410	0.0724640	-0.0034720	0.0317460	0.0247930
75~79歳→80~84歳	0.0769230	0.0134410	-0.0064100	-0.0170940	0.0641030	0.1315790	0.1090910	0.0231480	-0.0744680	0.0744680
80~84歳→85歳~	-0.0674160	0.0220990	0.0521740	0.0805690	0.0793650	0.0000000	-0.0786520	0.0641710	-0.0615380	-0.0241550

小学校区	打出浜		浜風		潮見		南芦屋浜	
	男	女	男	女	男	女	男	女
出生→0~4歳	0.278523	0.192171	-0.234043	-0.185185	-0.436893	-0.351351	2.350877	1.9
0~4歳→5~9歳	-0.2270920	-0.1818180	0.0000000	0.0818710	0.0181820	-0.2522520	1.2812500	1.3090910
5~9歳→10~14歳	-0.0891090	-0.1603770	0.1067420	-0.0486490	0.0116960	-0.0852710	1.3000000	1.1086960
10~14歳→15~19歳	-0.0619470	-0.1105530	0.0603450	0.0263160	-0.0346530	-0.0380430	0.7027030	0.9333330
15~19歳→20~24歳	-0.0438250	0.0648850	-0.0878660	-0.0664210	-0.1696430	-0.0645160	0.5714290	0.5000000
20~24歳→25~29歳	0.0094340	0.0969530	-0.1382110	-0.1688310	-0.1218490	-0.1200000	0.4250000	1.1372550
25~29歳→30~34歳	0.1350810	0.1237910	-0.1417000	-0.2517730	-0.2376680	-0.2178990	0.9222220	1.0666670
30~34歳→35~39歳	-0.0886700	-0.0252870	-0.0717300	-0.0597010	-0.1952660	-0.1073170	1.4096390	1.6707320
35~39歳→40~44歳	-0.1185410	-0.1408450	-0.0338160	0.0561800	-0.0272110	-0.0272730	1.7222220	1.7586210
40~44歳→45~49歳	-0.1384080	-0.0893470	0.0614040	0.0311420	-0.0679010	-0.0625000	1.5476190	1.5476190
45~49歳→50~54歳	-0.0517800	0.0534120	0.0351560	0.0230550	-0.0491800	0.0188680	0.7894740	0.6851850
50~54歳→55~59歳	0.0338980	0.0136990	0.0299730	-0.0308990	-0.0028900	-0.0208880	0.2352940	0.4642860
55~59歳→60~64歳	0.0196720	0.0028650	-0.0134680	-0.0066230	-0.0445860	-0.0537310	0.6760560	0.4489800
60~64歳→65~69歳	0.0456430	0.0364240	0.0199000	0.0769230	-0.0074070	0.0607290	0.4675320	0.3090910
65~69歳→70~74歳	0.0247520	0.0449440	0.0206900	0.0200000	-0.0290700	-0.0384620	0.3333330	0.3250000
70~74歳→75~79歳	0.0503140	0.0102560	0.1125000	0.0515460	0.1123600	0.0173910	0.2203390	0.2758620
75~79歳→80~84歳	-0.1290320	-0.0222220	0.0256410	-0.0163930	0.1842110	-0.0142860	0.0740740	0.2500000
80~84歳→85歳~	-0.1290320	-0.0222220	0.0256410	-0.0163930	0.1842110	-0.0142860	0.0714290	0.0961540

注; 打出浜, 浜風, 潮見の「80~84 歳 85歳~」は補正済み

2 - 2 推計方法

出生率

『日本の都道府県別将来推計人口』(平成19年5月推計)(国立社会保障・人口問題研究所編集 財団法人厚生統計協会発行)の兵庫県版データを使用する。但し、本市の特性を反映させるため、平成19年(2007年)の合計特殊出生率における兵庫県と本市の割合を将来も変わらないものと仮定して補正を行う。

本市の合計特殊出生率の兵庫県の値に対する割合は、平成7年(1995年)に一時的に減少したものの、昭和60年(1985年)の0.86から平成19年(2007年)では0.91になっており、将来は向上することも想定されるが、今回の推計では、0.91を補正值と設定する。

表4：兵庫県と本市の合計特殊出生率

	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		平成17年	
	合計特殊出生率	兵庫県の値に対する割合								
兵庫県	1.75	1.00	1.53	1.00	1.41	1.00	1.38	1.00	1.25	1.00
阪神南地域	1.60	0.91	1.40	0.92	1.29	0.91	1.35	0.98	1.22	0.98
尼崎市	1.64	0.94	1.45	0.95	1.36	0.96	1.37	0.99	1.27	1.02
西宮市	1.57	0.90	1.36	0.89	1.24	0.88	1.31	0.95	1.20	0.96
芦屋市	1.51	0.86	1.28	0.84	1.08	0.77	1.24	0.90	1.14	0.91

表5：兵庫県の出生率

年齢	平成17～22年 (2005～2010)	平成22～27年 (2010～2015)	平成27～32年 (2015～2020)	平成32～37年 (2020～2025)	平成37～42年 (2025～2030)	平成42～47年 (2030～2035)
15～19	0.00517	0.00513	0.00518	0.00527	0.00528	0.00524
20～24	0.03267	0.03144	0.03099	0.03117	0.03151	0.03163
25～29	0.08451	0.08157	0.08051	0.08000	0.08039	0.08102
30～34	0.08613	0.08374	0.08297	0.08328	0.08347	0.08375
35～39	0.03411	0.03468	0.03748	0.03899	0.03951	0.03985
40～44	0.00498	0.00574	0.00613	0.00636	0.00648	0.00654
45～49	0.00015	0.00018	0.00021	0.00022	0.00024	0.00025

資料：『日本の都道府県別将来推計人口』(平成19年5月推計)について 兵庫県版  
国立社会保障・人口問題研究所編集 財団法人厚生統計協会発行

表6：本市の設定出生率(県値の0.91で補正)

年齢	平成17～22年 (2005～2010)	平成22～27年 (2010～2015)	平成27～32年 (2015～2020)	平成32～37年 (2020～2025)	平成37～42年 (2025～2030)	平成42～47年 (2030～2035)
15～19	0.00470	0.00467	0.00471	0.00480	0.00480	0.00477
20～24	0.02973	0.02861	0.02820	0.02836	0.02867	0.02878
25～29	0.07690	0.07423	0.07326	0.07280	0.07315	0.07373
30～34	0.07838	0.07620	0.07550	0.07578	0.07596	0.07621
35～39	0.03104	0.03156	0.03411	0.03548	0.03595	0.03626
40～44	0.00453	0.00522	0.00558	0.00579	0.00590	0.00595
45～49	0.00014	0.00016	0.00019	0.00020	0.00022	0.00023

## 出生時の男女比

出生時の男女比は経年変化がほとんど見られないため、平成 19 年（2007 年）の本市の値を採用し、将来も変化しないものと仮定する。

表 7：本市の出生時男女比

	人 口	男女比
男	456	1.06
女	430	1

資料：兵庫県保健統計年報

### 第3章 推計結果

#### 3 - 1 本市の将来推計人口

##### (1) 総人口の推移

本市の将来推計人口は、平成 17 年（2005 年）の 90,584 人（国勢調査）から平成 22 年（2010 年）で 94,039 人となった後に微増を続けるが、平成 27 年（2015 年）の 97,033 人をピークにその後は減少傾向に転移し、平成 42 年（2030 年）では 94,689 人となる。

グラフ 2：芦屋市の将来推計人口

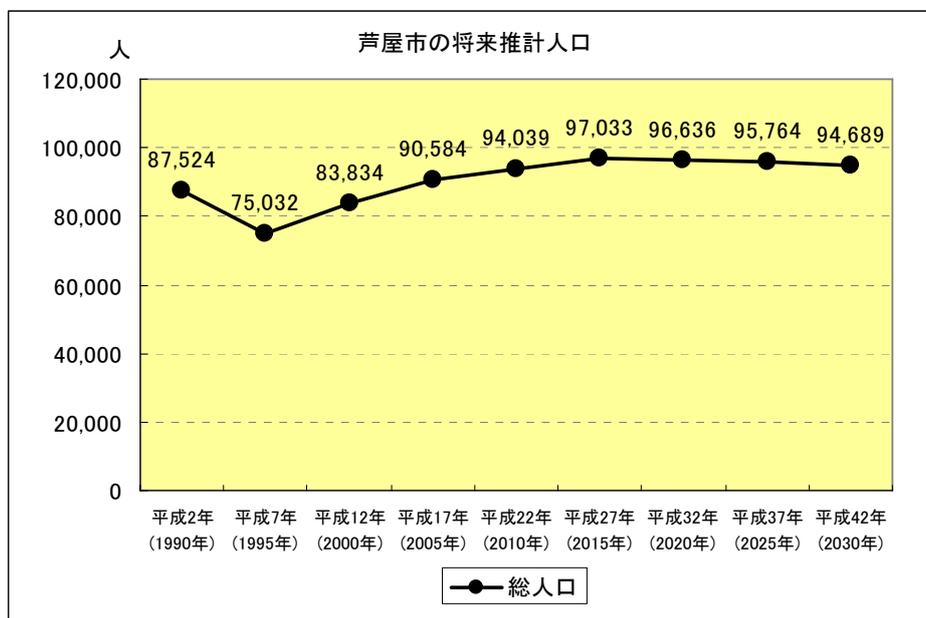


表 8：芦屋市の将来推計人口

年次	将来推計人口(人)
平成 17 年 (2005 年) 実績値	90,584
平成 22 年 (2010 年) 推計値	94,039
平成 27 年 (2015 年) 推計値	<b>97,033</b>
平成 32 年 (2020 年) 推計値	96,636
平成 37 年 (2025 年) 推計値	95,764
平成 42 年 (2030 年) 推計値	94,689

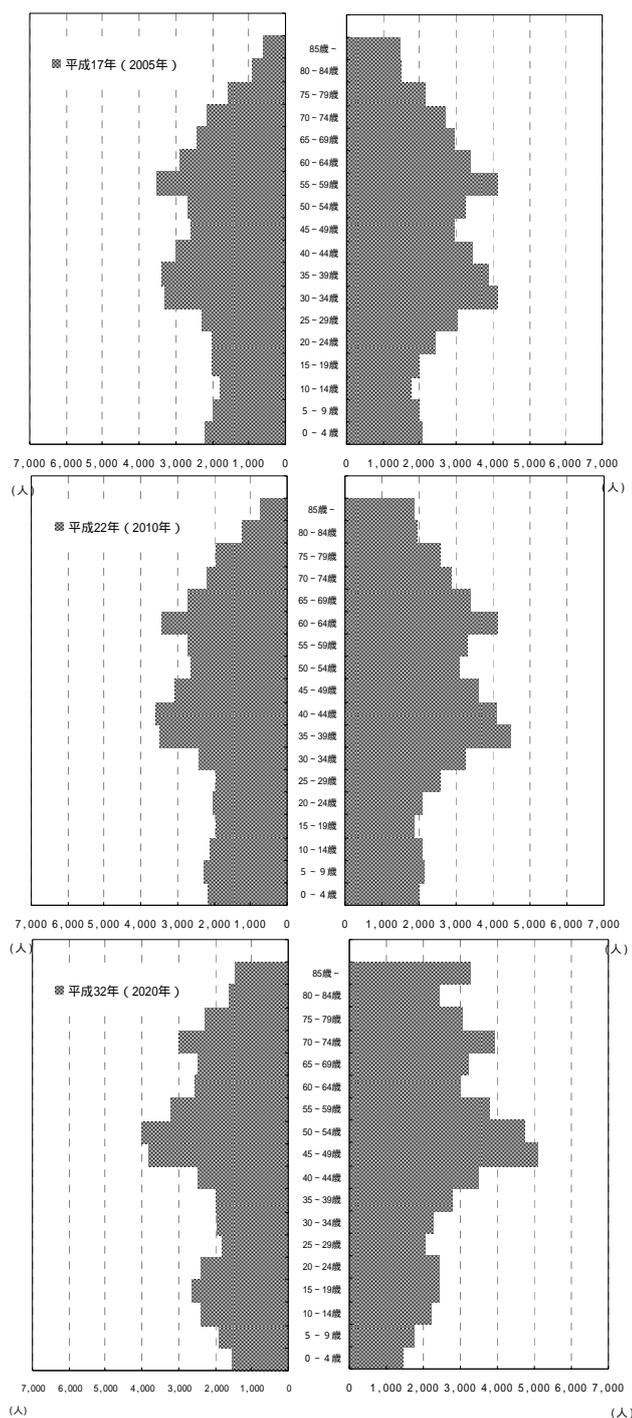
資料：国勢調査

(2) 人口ピラミッド

平成 17 年（2005 年）から平成 22 年（2010 年）、平成 32 年（2020 年）の人口ピラミッドを比較していくと、男女とも 45 歳以上の中高年齢層で増加が著しく、特に女性高年齢層の増加は顕著である。

一方、30 歳から 39 歳の年齢層は男女とも大きく減少し、併せて 0～9 歳の年齢層も大きく減少する。

グラフ 3：人口ピラミッドの推移



### 3 - 1 本市の将来推計人口

#### (3) 年齢3区分別将来推計人口

年少人口（0～14歳）は、平成17年（2005年）の11,738人（13.0%）から微増傾向で推移し、平成27年（2015年）では12,816人（13.2%）となるもののそれ以降は減少傾向に転じ、平成42年（2030年）では9,069人（9.6%）となる。

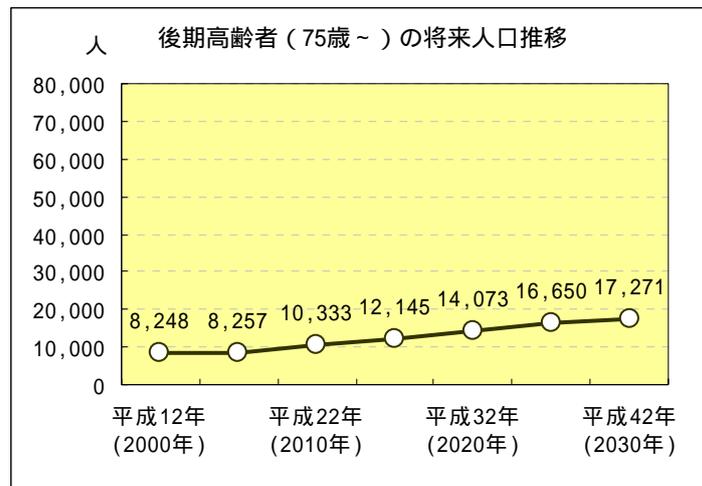
生産年齢人口（15～64歳）は、平成17年（2005年）の60,403人（66.7%）から減少傾向で推移し、平成42年（2030年）では56,577人（59.8%）となる。

老年人口（65歳以降）は、平成17年（2005年）の18,443人（20.4%）から増加傾向で推移し平成42年（2030年）では29,043人（30.7%）となる。

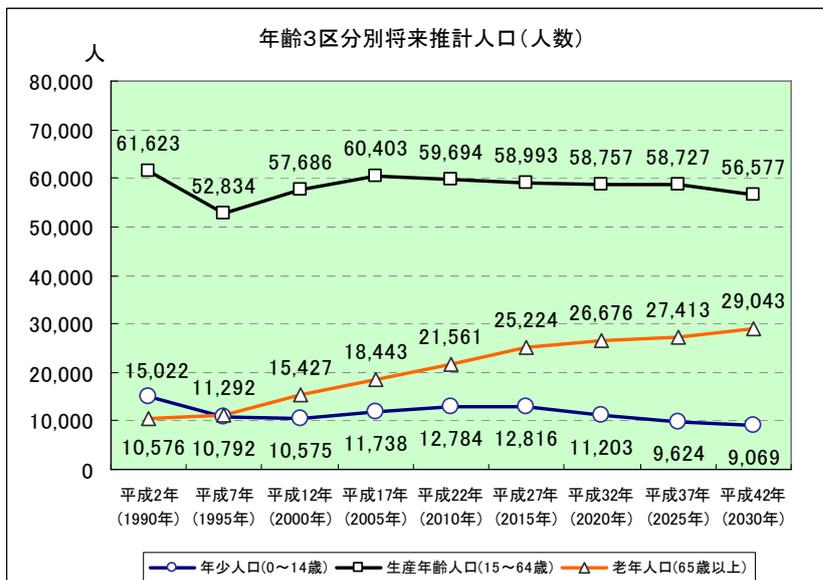
#### <<参考>>

後期高齢者（75歳以上）人口については、平成17年（2005年）の8,257人から増加傾向で推移し、平成42年（2030年）には17,271人となる。

グラフ4：後期高齢者（75歳以上）の将来推計人口



グラフ 5：年齢3区分別将来推計人口（人数）



グラフ 6：年齢3区分別将来推計人口（割合）

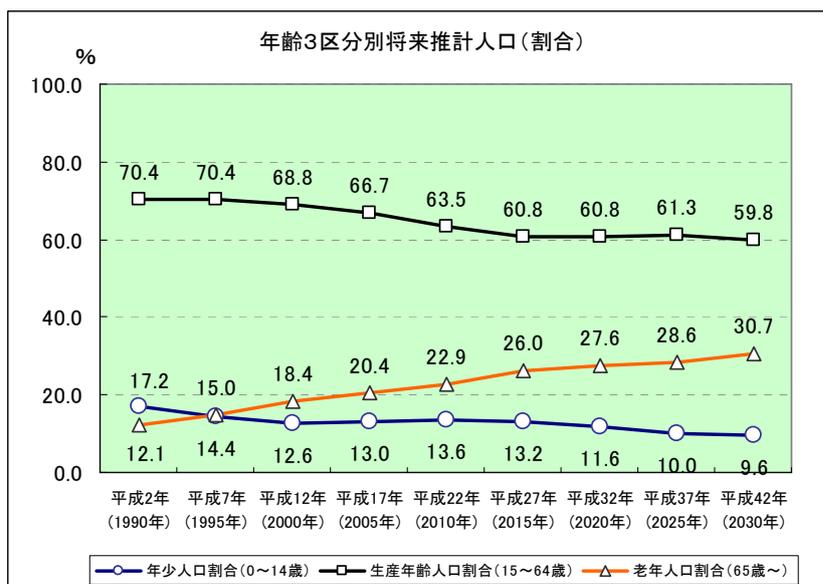


表 9：将来推計値

■人口動向		平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)
		国勢調査実績値					推計値			
人口	総人口	87,524	75,032	83,834	90,584	94,039	97,033	96,636	95,764	94,689
	男	41,130	34,928	38,705	41,387	42,723	43,867	43,391	42,716	41,975
	女	46,394	40,104	45,129	49,197	51,316	53,166	53,245	53,048	52,714
	0~14歳	15,022	10,792	10,575	11,738	12,784	12,816	11,203	9,624	9,069
	15~64歳	61,623	52,834	57,686	60,403	59,694	58,993	58,757	58,727	56,577
	65歳~	10,576	11,292	15,427	18,443	21,561	25,224	26,676	27,413	29,043
	年少人口割合(0~14歳)	17.2	14.4	12.6	13.0	13.6	13.2	11.6	10.0	9.6
	生産年齢人口割合(15~64歳)	70.4	70.4	68.8	66.7	63.5	60.8	60.8	61.3	59.8
	老年人口割合(65歳~)	12.1	15.0	18.4	20.4	22.9	26.0	27.6	28.6	30.7

### 3 - 2 小学校区別将来推計人口

(1) 山手小学校区

奥山，奥池町，奥池南町，劔谷，城山，山手町，山芦屋町，東芦屋町，西山町，三條町，大原町，船戸町，松ノ内町，月若町，西芦屋町，三條南町，上宮川町，業平町，前田町，清水町

山手小学校区の人口は，平成 17 年（2005 年）の 19,084 人から増加傾向で推移し，平成 42 年（2030 年）には 20,702 人まで増加する。

グラフ 7：将来推計人口（山手小学校区）

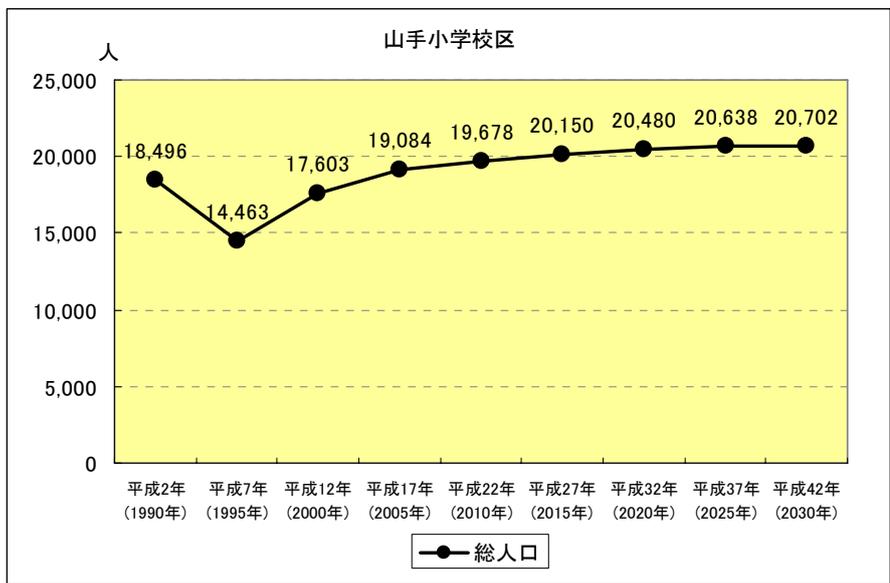


表 10：将来推計値（山手小学校区）

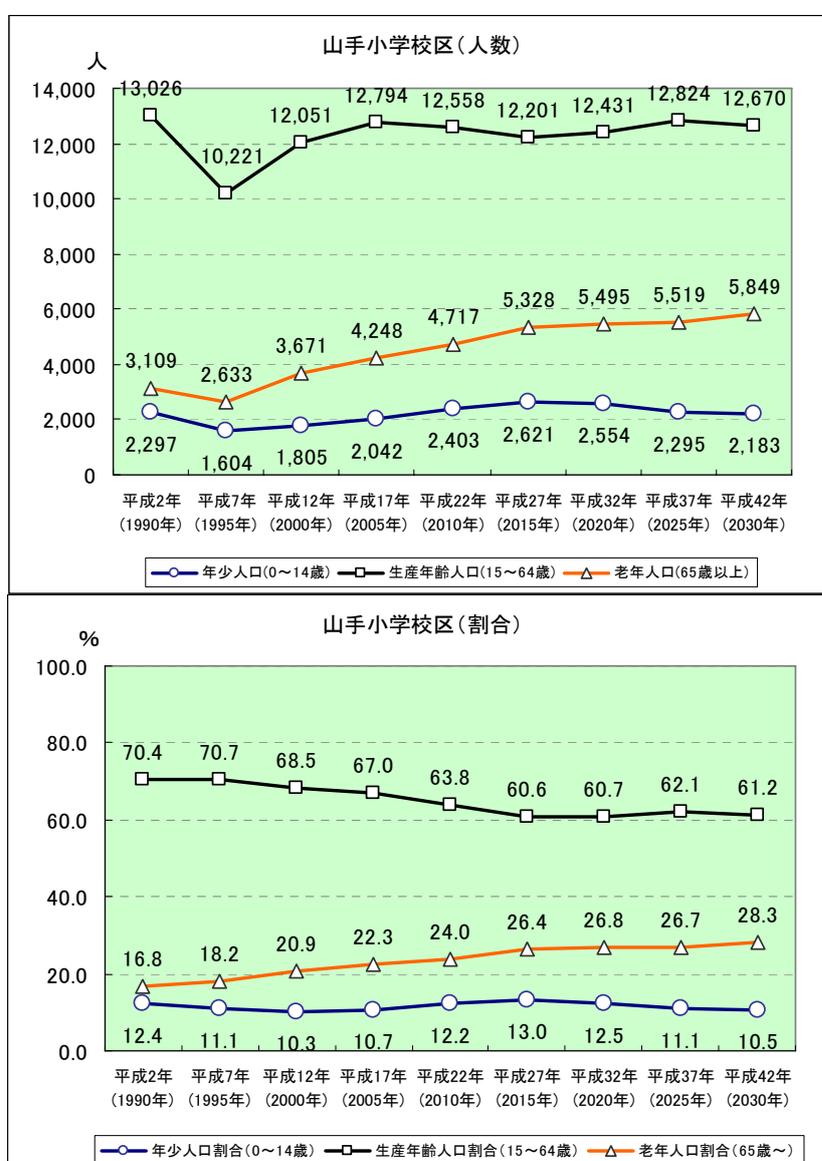
■人口動向		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
		(1990年)	(1995年)	(2000年)	(2005年)	(2010年)	(2015年)	(2020年)	(2025年)	(2030年)
		国勢調査実績値				推計値				
人口	総人口	18,496	14,463	17,603	19,084	19,678	20,150	20,480	20,638	20,702
	男	8,518	6,707	8,000	8,575	8,734	8,831	8,855	8,816	8,745
	女	9,978	7,756	9,603	10,509	10,944	11,319	11,625	11,822	11,957
	0～14歳	2,297	1,604	1,805	2,042	2,403	2,621	2,554	2,295	2,183
	15～64歳	13,026	10,221	12,051	12,794	12,558	12,201	12,431	12,824	12,670
	65歳～	3,109	2,633	3,671	4,248	4,717	5,328	5,495	5,519	5,849
年少人口割合(0～14歳)		12.4	11.1	10.3	10.7	12.2	13.0	12.5	11.1	10.5
生産年齢人口割合(15～64歳)		70.4	70.7	68.5	67.0	63.8	60.6	60.7	62.1	61.2
老年人口割合(65歳～)		16.8	18.2	20.9	22.3	24.0	26.4	26.8	26.7	28.3

年少人口（0～14歳）は、平成17年（2005年）の2,042人（10.7%）から増加傾向で推移するものの平成27年（2015年）の2,621人（13.0%）をピークに減少傾向に転じ、平成42年（2030年）では2,183人（10.5%）となる。

生産年齢人口（15～64歳）は、平成17年（2005年）の12,794人（67.0%）から人数としては横ばい傾向で推移するものの人口割合としては微減傾向にあり、平成42年では12,670人（61.2%）となる。

老年人口（65歳以降）は、平成17年（2005年）の4,248人（22.3%）から増加傾向で推移し、平成42年（2030年）では5,849人（28.3%）となる。

グラフ8：年齢3区分別人口の将来推計人口と割合（山手小学校区）



3 - 2 小学校区別将来推計人口

(2) 岩園小学校区

六麓荘町, 岩園町, 翠ヶ丘町, 親王塚町, 楠町

岩園小学校区の人口は, 平成 17 年 (2005 年) の 12,132 人から増加傾向で推移し, 平成 42 年 (2030 年) には 14,834 人まで増加する。

グラフ 9 : 将来推計人口 (岩園小学校区)

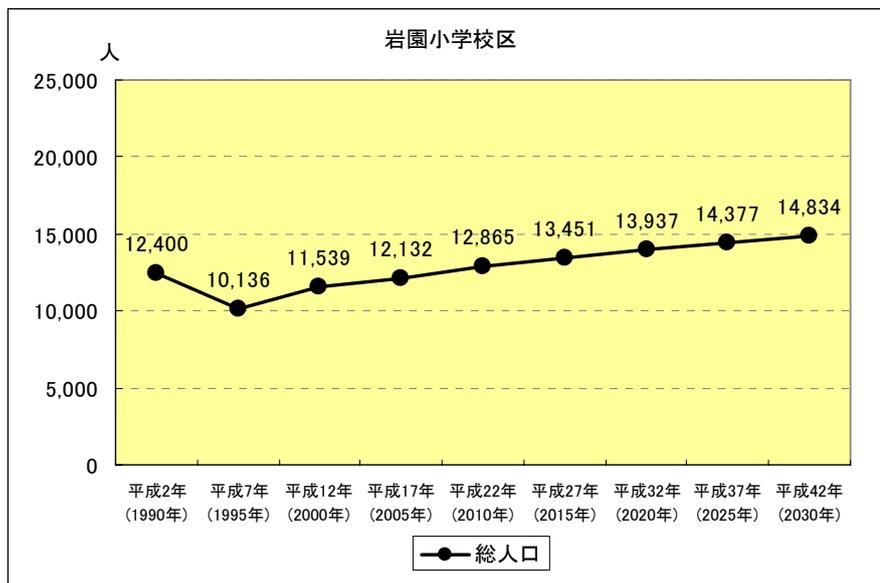


表 11 : 将来推計値 (岩園小学校区)

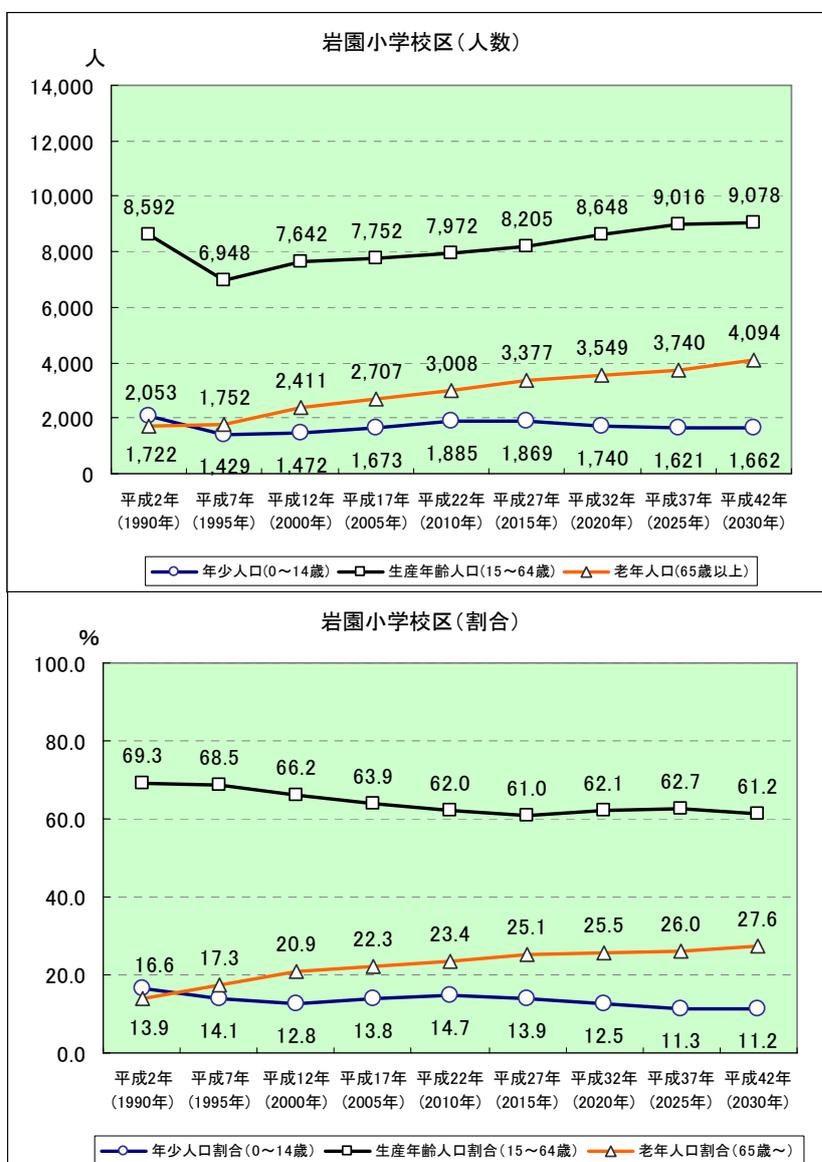
■人口動向		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
		(1990年)	(1995年)	(2000年)	(2005年)	(2010年)	(2015年)	(2020年)	(2025年)	(2030年)
		国勢調査実績値				推計値				
人口	総人口	12,400	10,136	11,539	12,132	12,865	13,451	13,937	14,377	14,834
	男	5,829	4,645	5,263	5,461	5,802	6,072	6,299	6,505	6,729
	女	6,571	5,491	6,276	6,671	7,063	7,379	7,638	7,872	8,105
	0~14歳	2,053	1,429	1,472	1,673	1,885	1,869	1,740	1,621	1,662
	15~64歳	8,592	6,948	7,642	7,752	7,972	8,205	8,648	9,016	9,078
	65歳~	1,722	1,752	2,411	2,707	3,008	3,377	3,549	3,740	4,094
年少人口割合(0~14歳)		16.6	14.1	12.8	13.8	14.7	13.9	12.5	11.3	11.2
生産年齢人口割合(15~64歳)		69.3	68.5	66.2	63.9	62.0	61.0	62.1	62.7	61.2
老年人口割合(65歳~)		13.9	17.3	20.9	22.3	23.4	25.1	25.5	26.0	27.6

年少人口（0～14歳）は、平成17年（2005年）の1,673人（13.8%）から微増傾向で推移するものの平成22年（2010年）の1,885人（14.7%）をピークに微減傾向に転じ、平成42年（2030年）では1,662人（11.2%）となる。

生産年齢人口（15～64歳）は、平成17年（2005年）の7,752人（63.9%）から人数としては増加傾向で推移するものの人口割合としては横ばい傾向にあり、平成42年では9,078人（61.2%）となる。

老年人口（65歳以降）は、平成17年（2005年）の2,707人（22.3%）から増加傾向で推移し、平成42年（2030年）では4,094人（27.6%）となる。

グラフ 10：年齢3区分別人口の将来推計人口と割合（岩園小学校区）



3 - 2 小学校区別将来推計人口

(3) 朝日ヶ丘小学校区

朝日ヶ丘町，東山町

朝日ヶ丘小学校区の人口は，平成 17 年（2005 年）の 9,440 人から減少傾向で推移し，平成 42 年（2030 年）には 7,500 人まで減少する。

グラフ 11：将来推計人口（朝日ヶ丘小学校区）

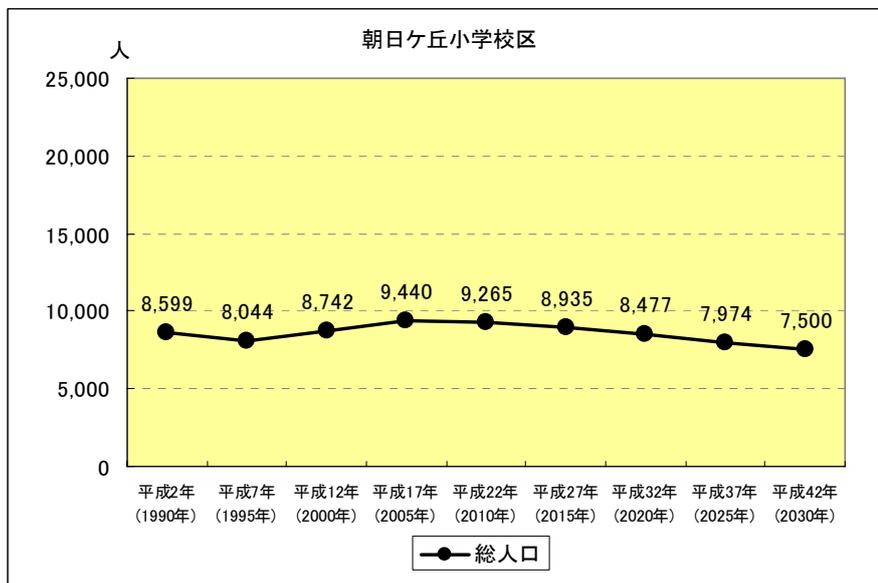


表 12：将来推計値（朝日ヶ丘小学校区）

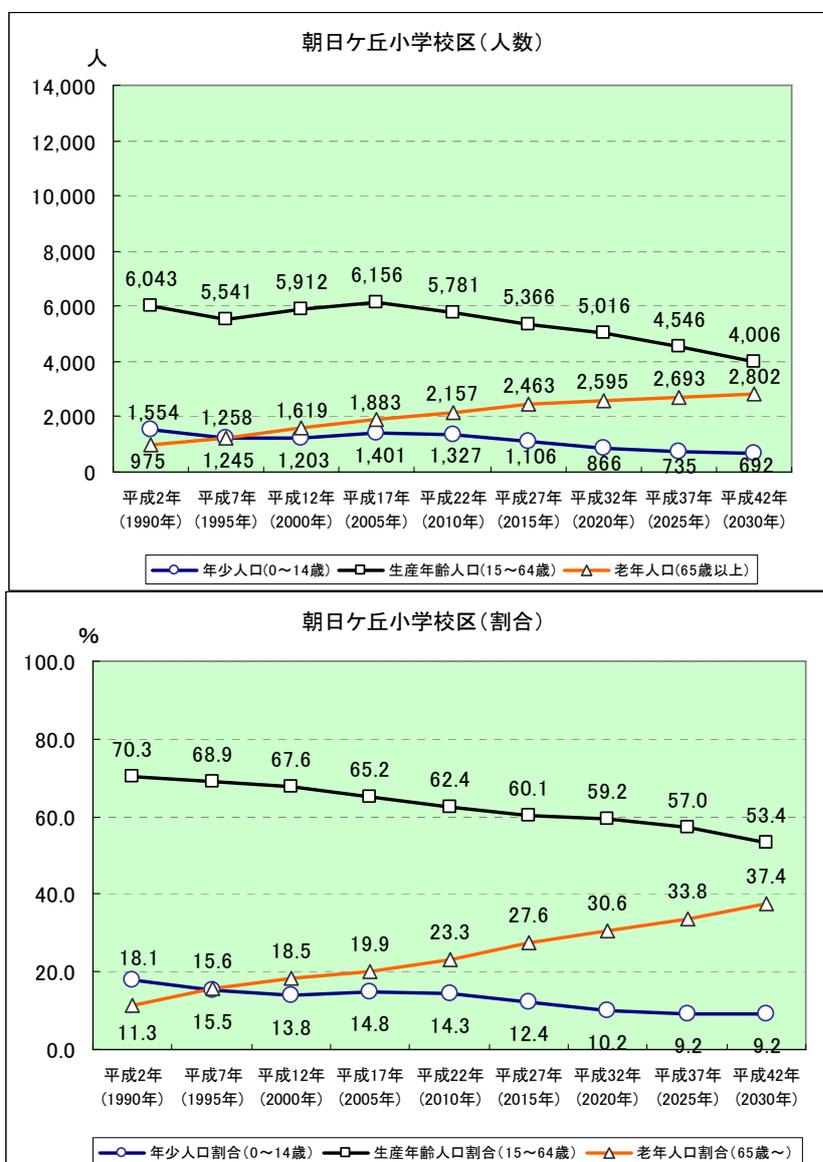
■人口動向		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
		(1990年)	(1995年)	(2000年)	(2005年)	(2010年)	(2015年)	(2020年)	(2025年)	(2030年)
		国勢調査実績値				推計値				
人口	総人口	8,599	8,044	8,742	9,440	9,265	8,935	8,477	7,974	7,500
	男	3,951	3,654	3,981	4,283	4,158	3,960	3,706	3,427	3,166
	女	4,648	4,390	4,761	5,157	5,107	4,975	4,771	4,547	4,334
	0～14歳	1,554	1,245	1,203	1,401	1,327	1,106	866	735	692
	15～64歳	6,043	5,541	5,912	6,156	5,781	5,366	5,016	4,546	4,006
	65歳～	975	1,258	1,619	1,883	2,157	2,463	2,595	2,693	2,802
年少人口割合(0～14歳)		18.1	15.5	13.8	14.8	14.3	12.4	10.2	9.2	9.2
生産年齢人口割合(15～64歳)		70.3	68.9	67.6	65.2	62.4	60.1	59.2	57.0	53.4
老年人口割合(65歳～)		11.3	15.6	18.5	19.9	23.3	27.6	30.6	33.8	37.4

年少人口（0～14歳）は、平成17年（2005年）の1,401人（14.8%）から減少傾向で推移し、平成42年（2030年）では692人（9.2%）となる。

生産年齢人口（15～64歳）は、平成17年（2005年）の6,156人（65.2%）から減少傾向で推移し、平成42年では4,006人（53.4%）となる。

老年人口（65歳以降）は、平成17年（2005年）の1,883人（19.9%）から増加傾向で推移し、平成42年（2030年）では2,802人（37.4%）となる。

グラフ 12：年齢3区分別人口の将来推計人口と割合（朝日ヶ丘小学校区）



3 - 2 小学校区別将来推計人口

(4) 精道小学校区

茶屋之町，大榎町，公光町，川西町，津知町，竹園町，精道町，  
浜芦屋町，平田北町，伊勢町，松浜町，平田町

精道小学校区の人口は，平成 17 年（2005 年）の 12,645 人から増加傾向で推移し，平成 42 年（2030 年）には 14,271 人まで増加する。

グラフ 13：将来推計人口（精道小学校区）

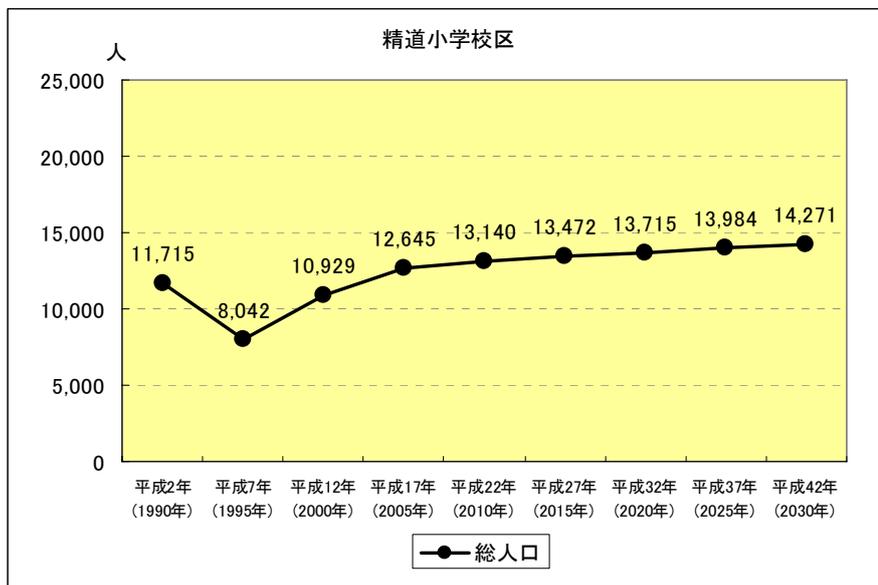


表 13：将来推計値（精道小学校区）

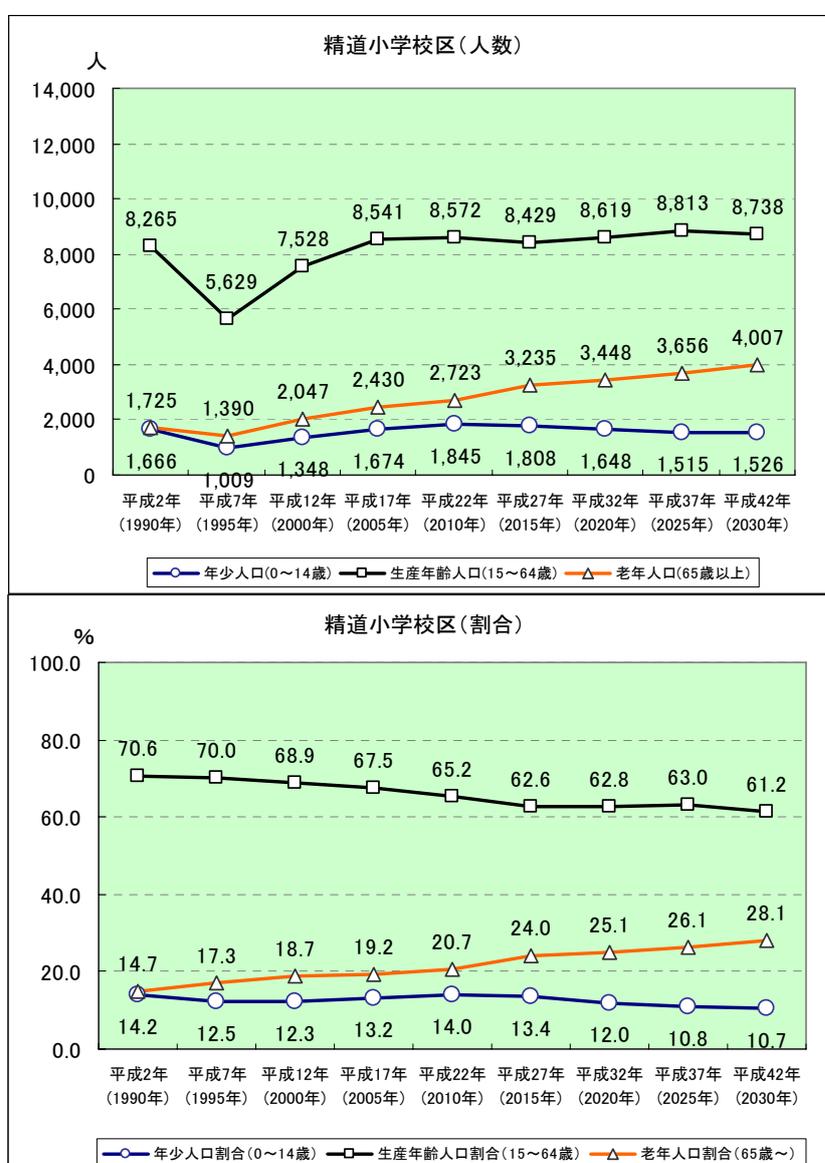
■人口動向		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
		(1990年)	(1995年)	(2000年)	(2005年)	(2010年)	(2015年)	(2020年)	(2025年)	(2030年)
		国勢調査実績値				推計値				
人口	総人口	11,715	8,042	10,929	12,645	13,140	13,472	13,715	13,984	14,271
	男	5,481	3,834	5,130	5,759	5,930	6,016	6,061	6,117	6,186
	女	6,234	4,208	5,799	6,886	7,210	7,456	7,654	7,867	8,085
	0～14歳	1,666	1,009	1,348	1,674	1,845	1,808	1,648	1,515	1,526
	15～64歳	8,265	5,629	7,528	8,541	8,572	8,429	8,619	8,813	8,738
	65歳～	1,725	1,390	2,047	2,430	2,723	3,235	3,448	3,656	4,007
年少人口割合(0～14歳)		14.2	12.5	12.3	13.2	14.0	13.4	12.0	10.8	10.7
生産年齢人口割合(15～64歳)		70.6	70.0	68.9	67.5	65.2	62.6	62.8	63.0	61.2
老年人口割合(65歳～)		14.7	17.3	18.7	19.2	20.7	24.0	25.1	26.1	28.1

年少人口（0～14歳）は、平成17年（2005年）の1,674人（13.2%）から微増傾向で推移するものの平成22年（2010年）の1,845人（14.0%）をピークに微減傾向に転じ、平成42年（2030年）では1,526人（10.7%）となる。

生産年齢人口（15～64歳）は、平成17年（2005年）の8,541人（67.5%）から人数としては微増傾向で推移するものの人口割合としては減少傾向にあり、平成42年では8,738人（61.2%）となる。

老年人口（65歳以降）は、平成17年（2005年）の2,430人（19.2%）から増加傾向で推移し、平成42年（2030年）では4,007人（28.1%）となる。

グラフ 14：年齢3区分別人口の将来推計人口と割合（精道小学校区）



3 - 2 小学校区別将来推計人口

(5) 宮川小学校区

打出小槌町, 宮塚町, 若宮町, 宮川町, 浜町, 西藏町, 呉川町

宮川小学校区の人口は, 平成 17 年 (2005 年) の 11,197 人から微増傾向で推移し, 平成 42 年 (2030 年) には 12,204 人まで増加する。

グラフ 15 : 将来推計人口 (宮川小学校区)

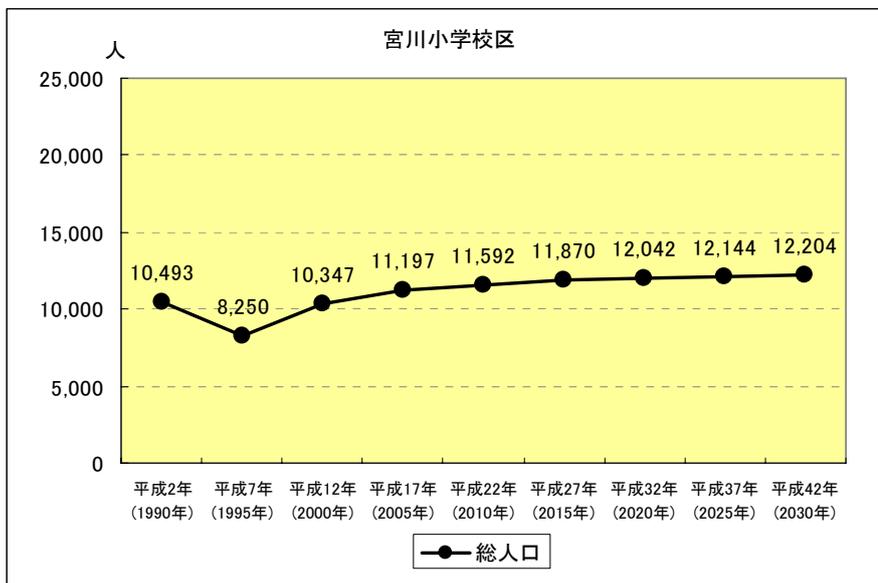


表 14 : 将来推計値 (宮川小学校区)

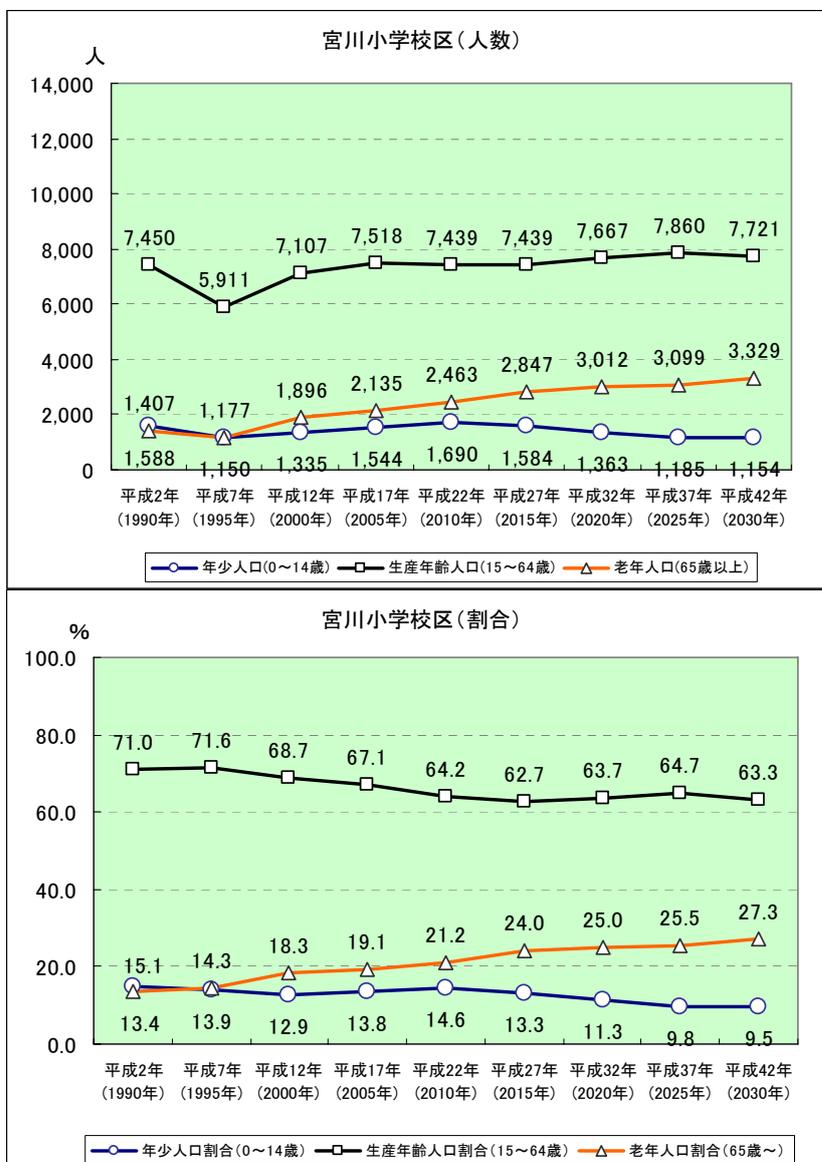
■人口動向		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
		(1990年)	(1995年)	(2000年)	(2005年)	(2010年)	(2015年)	(2020年)	(2025年)	(2030年)
		国勢調査実績値				推計値				
人口	総人口	10,493	8,250	10,347	11,197	11,592	11,870	12,042	12,144	12,204
	男	5,003	3,846	4,771	5,169	5,349	5,485	5,572	5,626	5,654
	女	5,490	4,404	5,576	6,028	6,243	6,385	6,470	6,518	6,550
	0~14歳	1,588	1,150	1,335	1,544	1,690	1,584	1,363	1,185	1,154
	15~64歳	7,450	5,911	7,107	7,518	7,439	7,439	7,667	7,860	7,721
	65歳~	1,407	1,177	1,896	2,135	2,463	2,847	3,012	3,099	3,329
年少人口割合(0~14歳)		15.1	13.9	12.9	13.8	14.6	13.3	11.3	9.8	9.5
生産年齢人口割合(15~64歳)		71.0	71.6	68.7	67.1	64.2	62.7	63.7	64.7	63.3
老年人口割合(65歳~)		13.4	14.3	18.3	19.1	21.2	24.0	25.0	25.5	27.3

年少人口（0～14歳）は、平成17年（2005年）の1,544人（13.8%）から微増傾向で推移ものの平成22年（2010年）の1,690人（14.6%）をピークに減少傾向に転じ、平成42年（2030年）では1,154人（9.5%）となる。

生産年齢人口（15～64歳）は、平成17年（2005年）の7,518人（67.1%）から人数としては横ばいから微増傾向で推移するものの人口割合としては微減傾向にあり、平成42年では7,721人（63.3%）となる。

老年人口（65歳以降）は、平成17年（2005年）の2,135人（19.1%）から増加傾向で推移し、平成42年（2030年）では3,329人（27.3%）となる。

グラフ 16：年齢3区分別人口の将来推計人口と割合（宮川小学校区）



3 - 2 小学校区別将来推計人口

(6) 打出浜小学校区

春日町，打出町，南宮町，大東町

打出浜小学校区の人口は，平成 17 年（2005 年）の 9,828 人から減少傾向で推移し，平成 42 年（2030 年）には 8,061 人まで減少する。

グラフ 17：将来推計人口（打出浜小学校区）

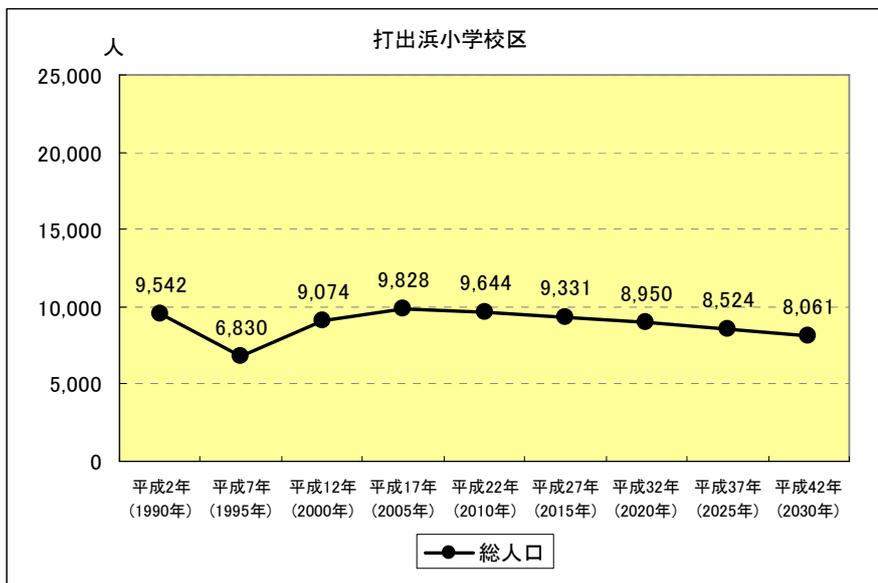


表 15：将来推計値（打出浜小学校区）

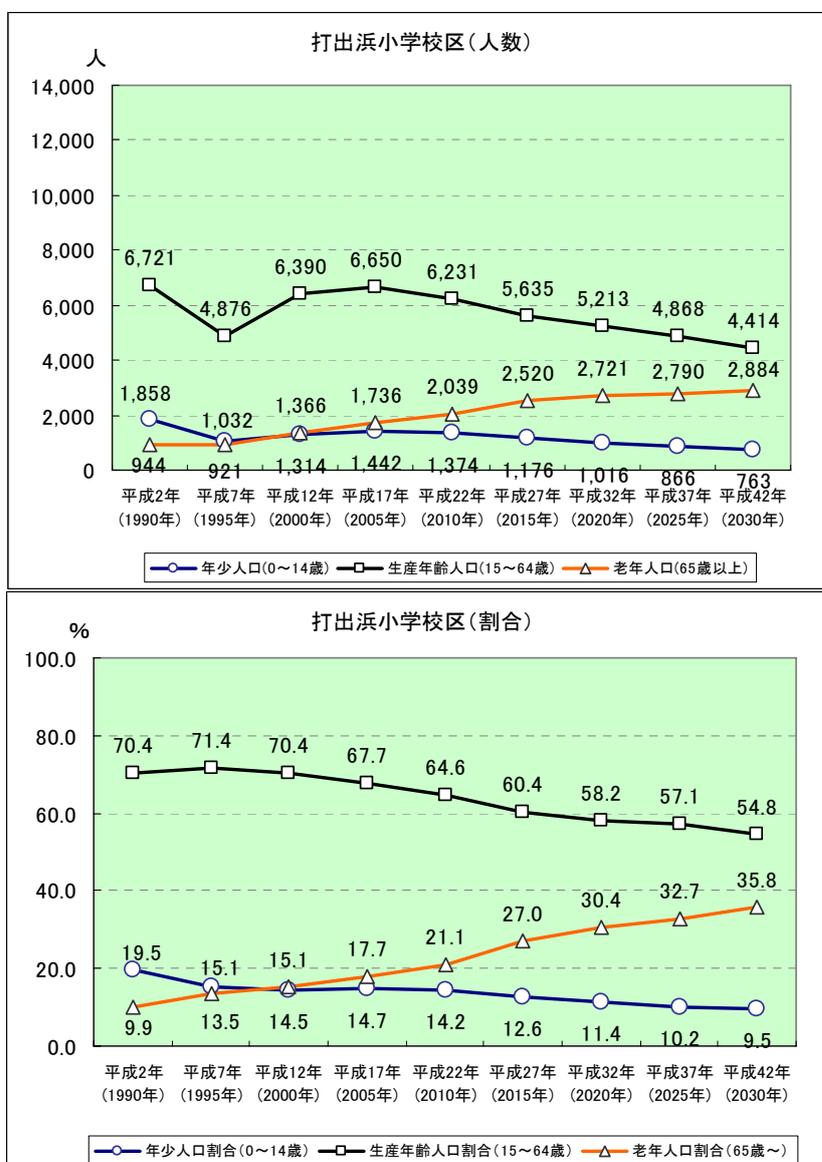
■人口動向		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
		(1990年)	(1995年)	(2000年)	(2005年)	(2010年)	(2015年)	(2020年)	(2025年)	(2030年)
		国勢調査実績値				推計値				
人口	総人口	9,542	6,830	9,074	9,828	9,644	9,331	8,950	8,524	8,061
	男	4,493	3,178	4,310	4,679	4,525	4,321	4,090	3,848	3,594
	女	5,049	3,652	4,764	5,149	5,119	5,010	4,860	4,676	4,467
	0～14歳	1,858	1,032	1,314	1,442	1,374	1,176	1,016	866	763
	15～64歳	6,721	4,876	6,390	6,650	6,231	5,635	5,213	4,868	4,414
	65歳～	944	921	1,366	1,736	2,039	2,520	2,721	2,790	2,884
年少人口割合(0～14歳)		19.5	15.1	14.5	14.7	14.2	12.6	11.4	10.2	9.5
生産年齢人口割合(15～64歳)		70.4	71.4	70.4	67.7	64.6	60.4	58.2	57.1	54.8
老年人口割合(65歳～)		9.9	13.5	15.1	17.7	21.1	27.0	30.4	32.7	35.8

年少人口（0～14歳）は、平成17年（2005年）の1,442人（14.7%）から減少傾向で推移し、平成42年（2030年）では763人（9.5%）となる。

生産年齢人口（15～64歳）は、平成17年（2005年）の6,650人（67.7%）から減少傾向で推移し、平成42年では4,414人（54.8%）となる。

老年人口（65歳以降）は、平成17年（2005年）の1,736人（17.7%）から増加傾向で推移し、平成42年（2030年）では2,884人（35.8%）となる。

グラフ 18：年齢3区分別人口の将来推計人口と割合（打出浜小学校区）



3 - 2 小学校区別将来推計人口

(7) 浜風小学校区

新浜町，浜風町，高浜町

浜風小学校区の人口は，平成 17 年（2005 年）の 7,170 人から減少傾向で推移し，平成 42 年（2030 年）には 5,839 人まで減少する。

グラフ 19：将来推計人口（浜風小学校区）

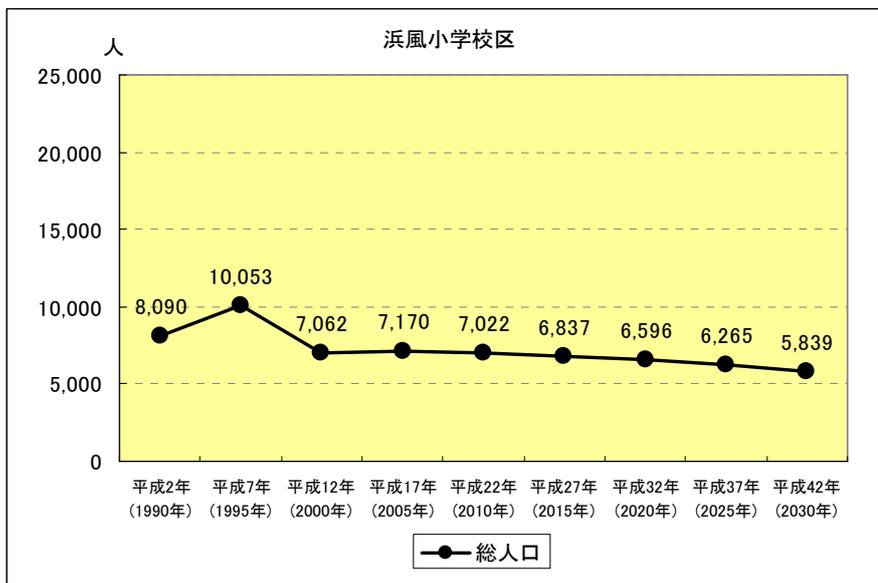


表 16：将来推計値（浜風小学校区）

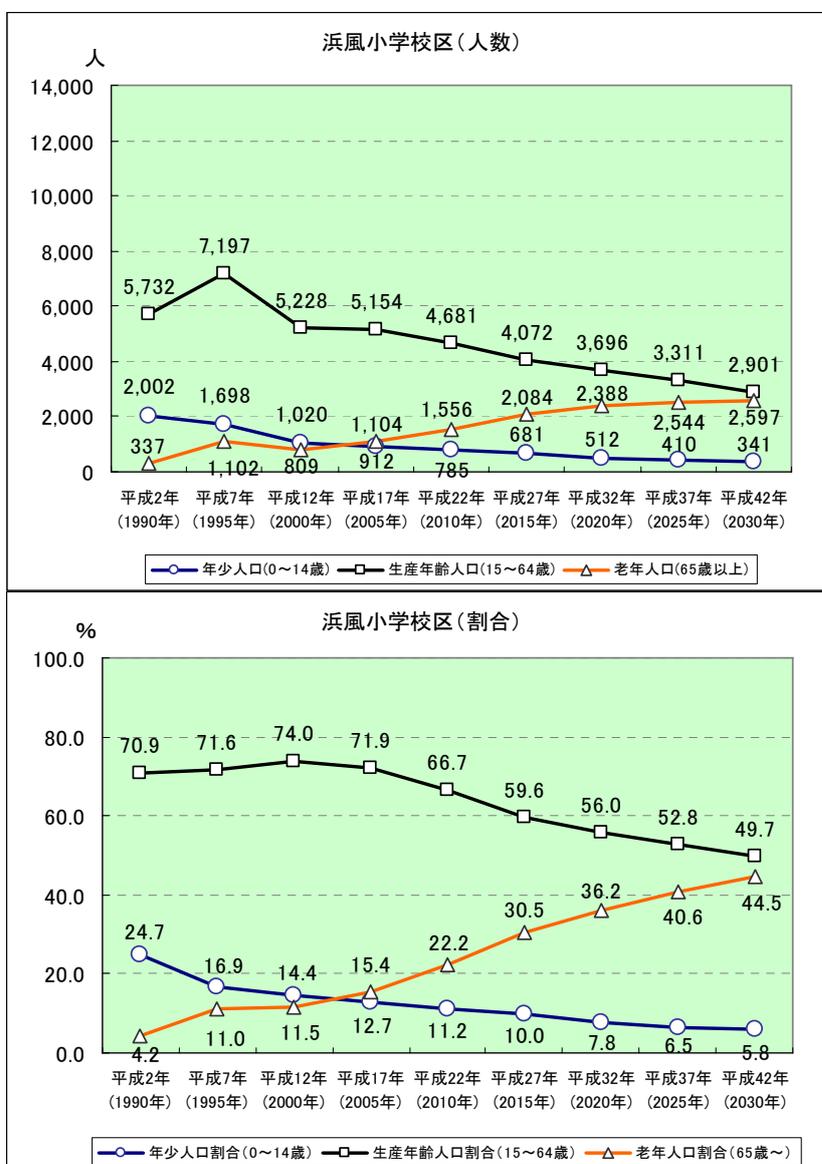
■人口動向		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
		(1990年)	(1995年)	(2000年)	(2005年)	(2010年)	(2015年)	(2020年)	(2025年)	(2030年)
		国勢調査実績値				推計値				
人口	総人口	8,090	10,053	7,062	7,170	7,022	6,837	6,596	6,265	5,839
	男	3,889	4,708	3,298	3,317	3,250	3,153	3,028	2,861	2,651
	女	4,201	5,345	3,764	3,853	3,772	3,684	3,568	3,404	3,188
	0～14歳	2,002	1,698	1,020	912	785	681	512	410	341
	15～64歳	5,732	7,197	5,228	5,154	4,681	4,072	3,696	3,311	2,901
	65歳～	337	1,102	809	1,104	1,556	2,084	2,388	2,544	2,597
年少人口割合(0～14歳)		24.7	16.9	14.4	12.7	11.2	10.0	7.8	6.5	5.8
生産年齢人口割合(15～64歳)		70.9	71.6	74.0	71.9	66.7	59.6	56.0	52.8	49.7
老年人口割合(65歳～)		4.2	11.0	11.5	15.4	22.2	30.5	36.2	40.6	44.5

年少人口（0～14歳）は、平成17年（2005年）の912人（12.7%）から減少傾向で推移し、平成42年（2030年）では341人（5.8%）となる。

生産年齢人口（15～64歳）は、平成17年（2005年）の5,154人（71.9%）から減少傾向で推移し、平成42年では2,901人（49.7%）となる。

老年人口（65歳以降）は、平成17年（2005年）の1,104人（15.4%）から増加傾向で推移し、平成42年（2030年）では2,597人（44.5%）となる。

グラフ 20：年齢3区分別人口の将来推計人口と割合（浜風小学校区）



3 - 2 小学校区別将来推計人口

(8) 潮見小学校区（南芦屋浜地区を除く）

若葉町，緑町，潮見町

南芦屋浜地区を除く潮見小学校区の人口は，平成 17 年（2005 年）の 6,503 人から減少傾向で推移し，平成 42 年（2030 年）には 4,179 人まで減少する。

グラフ 21：将来推計人口（潮見小学校区（南芦屋浜地区を除く））

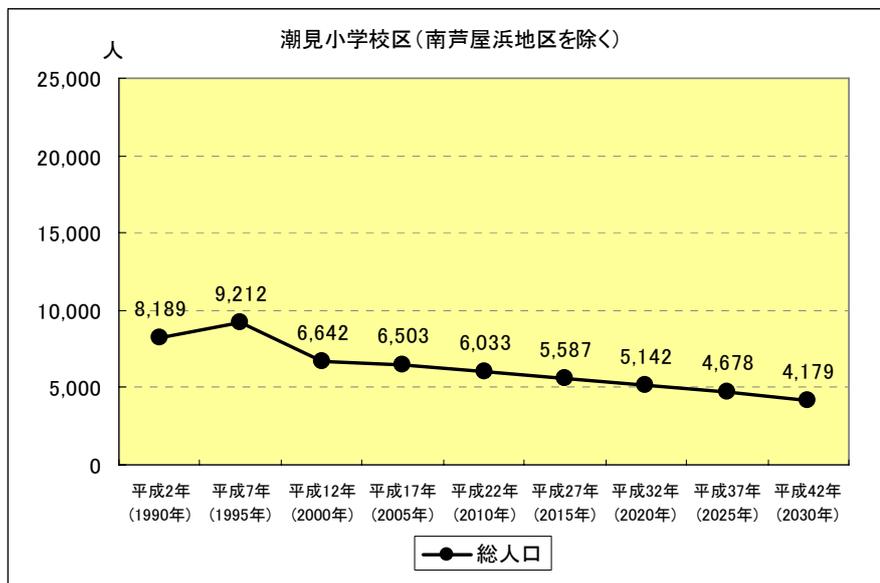


表 17：将来推計値（潮見小学校区）

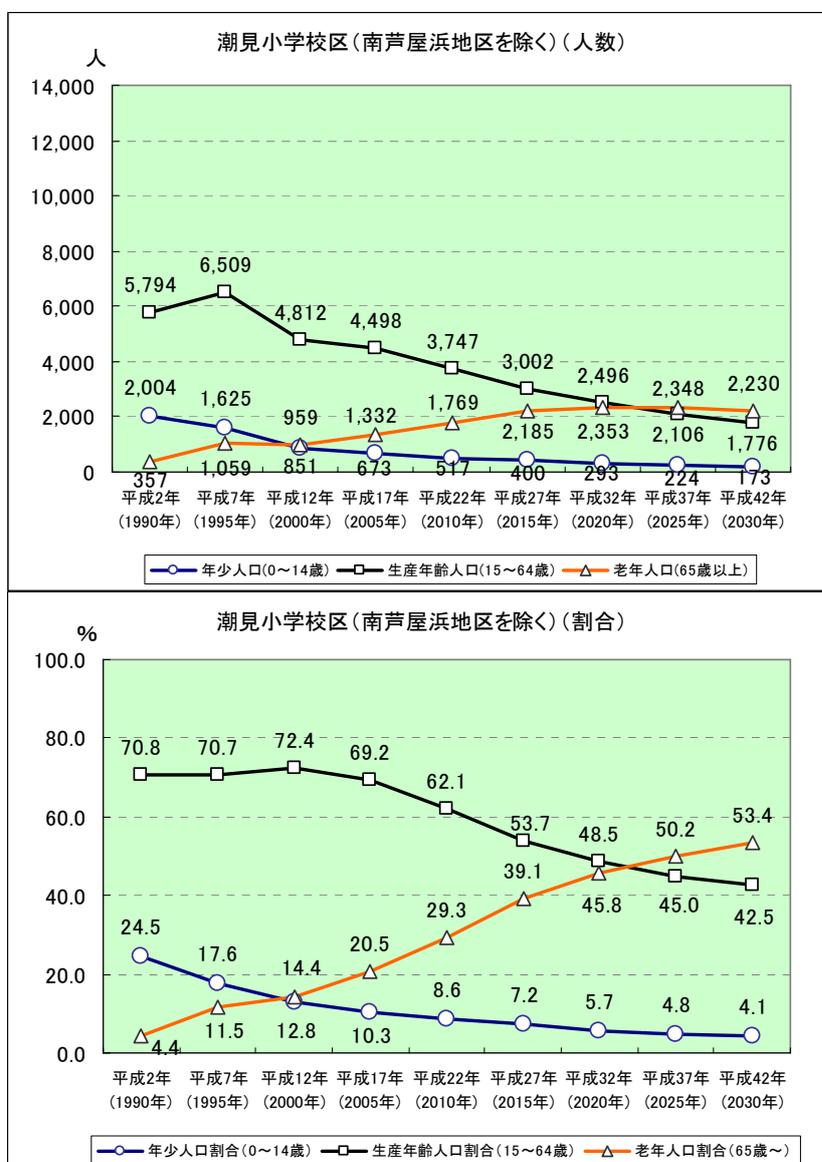
■人口動向		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
		(1990年)	(1995年)	(2000年)	(2005年)	(2010年)	(2015年)	(2020年)	(2025年)	(2030年)
		国勢調査実績値				推計値				
人口	総人口	8,189	9,212	6,642	6,503	6,033	5,587	5,142	4,678	4,179
	男	3,966	4,354	3,108	3,013	2,782	2,562	2,351	2,132	1,898
	女	4,223	4,858	3,534	3,490	3,251	3,025	2,791	2,546	2,281
	0～14歳	2,004	1,625	851	673	517	400	293	224	173
	15～64歳	5,794	6,509	4,812	4,498	3,747	3,002	2,496	2,106	1,776
	65歳～	357	1,059	959	1,332	1,769	2,185	2,353	2,348	2,230
年少人口割合(0～14歳)		24.5	17.6	12.8	10.3	8.6	7.2	5.7	4.8	4.1
生産年齢人口割合(15～64歳)		70.8	70.7	72.4	69.2	62.1	53.7	48.5	45.0	42.5
老年人口割合(65歳～)		4.4	11.5	14.4	20.5	29.3	39.1	45.8	50.2	53.4

年少人口（0～14歳）は、平成17年（2005年）の673人（10.3%）から減少傾向で推移し、平成42年（2030年）では173人（4.1%）となる。

生産年齢人口（15～64歳）は、平成17年（2005年）の4,498人（69.2%）から激減傾向で推移し、平成42年では1,776人（42.5%）となる。

老年人口（65歳以降）は、平成17年（2005年）の1,332人（20.5%）から急増傾向で推移し、平成32年（2020年）以降は生産年齢人口と人数や割合が逆転し、平成42年（2030年）では2,230人（53.4%）となる。

グラフ 22：年齢3区分別人口の将来推計人口と割合（潮見小学校区（南芦屋浜地区を除く））



(9) 南芦屋浜地区

陽光町，海洋町，涼風町，南浜町

南芦屋浜地区の人口は，平成 17 年（2005 年）の 2,585 人から増加傾向で推移するものの平成 27 年（2015 年）の 7,400 人をピークにその後は減少傾向に転じ，平成 42 年（2030 年）には 7,099 人となる。

<<注意>>

南芦屋浜地区は，兵庫県企業庁によって計画人口 9,000 人として開発されている。開発計画では世帯人員 3 人で計算されているが，本推計においては，推計時点での当該地区の平均世帯人員（2.66 人）で算出しているため，計画人口よりも少ない推計結果となっている。

グラフ 23：将来推計人口（南芦屋浜地区）

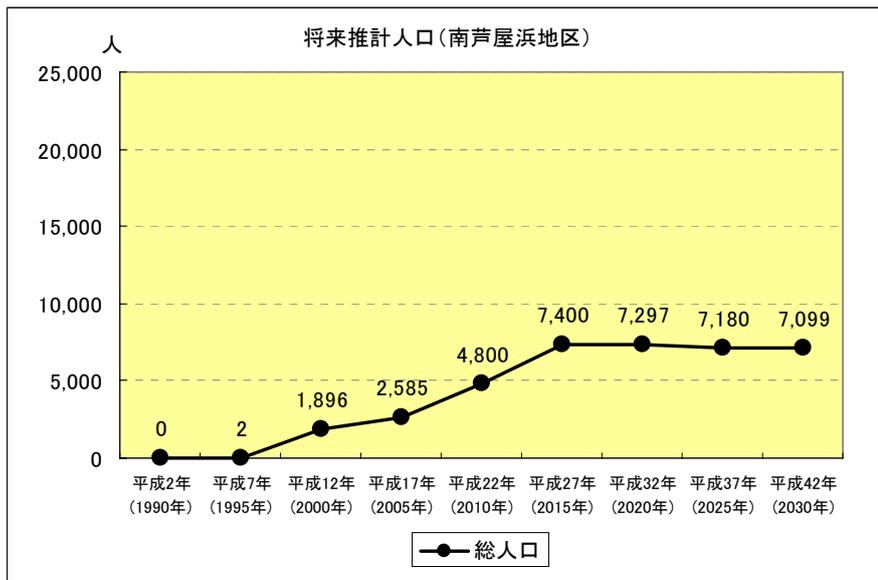


表 18：将来推計値（南芦屋浜地区）

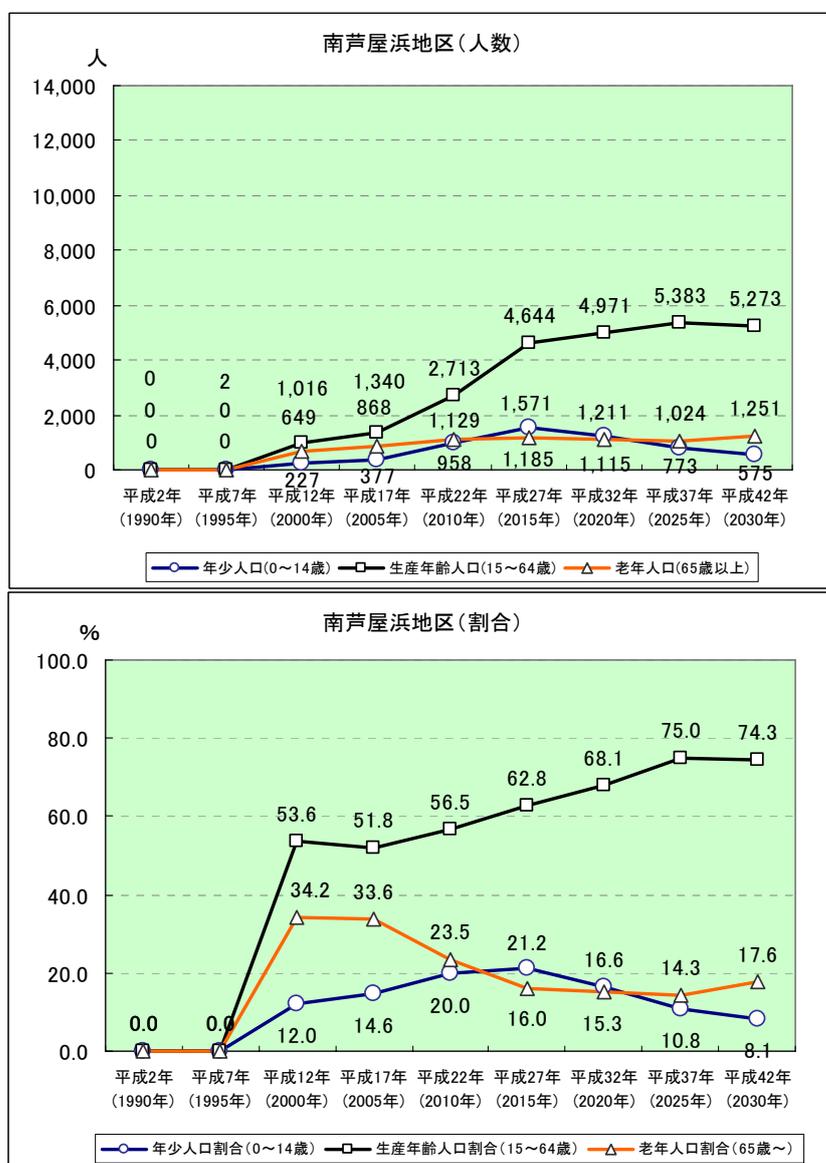
■人口動向		平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)
		国勢調査実績値				推計値				
人口	総人口	0	2	1,896	2,585	4,800	7,400	7,297	7,180	7,099
	男	0	2	844	1,131	2,193	3,467	3,429	3,384	3,352
	女	0	0	1,052	1,454	2,607	3,933	3,868	3,796	3,747
	0～14歳	0	0	227	377	958	1,571	1,211	773	575
	15～64歳	0	2	1,016	1,340	2,713	4,644	4,971	5,383	5,273
	65歳～	0	0	649	868	1,129	1,185	1,115	1,024	1,251
年少人口割合(0～14歳)		-	-	12.0	14.6	20.0	21.2	16.6	10.8	8.1
生産年齢人口割合(15～64歳)		-	-	53.6	51.8	56.5	62.8	68.1	75.0	74.3
老年人口割合(65歳～)		-	-	34.2	33.6	23.5	16.0	15.3	14.3	17.6

年少人口（0～14歳）は、平成17年（2005年）の377人（14.6%）から増加傾向で推移するものの、平成27年（2015年）の1,571人（21.2%）をピークに減少傾向に転じ、平成42年（2030年）では575人（8.1%）となる。

生産年齢人口（15～64歳）は、平成17年（2005年）の1,340人（51.8%）から増加傾向で推移するものの平成37年（2025年）の5,383（75.0%）をピークに減少傾向に転じ、平成42年では5,273人（74.3%）となる。

老年人口（65歳以降）は、平成17年（2005年）の868人（33.6%）から増加傾向で推移し、平成27年（2015年）以降は横ばい傾向となるものの平成42年（2030年）では1,251人（17.6%）と増加する。

グラフ 24：年齢3区分別人口の将来推計人口と割合（南芦屋浜地区）



## 第4章 今後の課題

- (1) 本市の近年の人口動向は、社会経済情勢の悪化やマンション住宅用地の減少などにより人口増加は緩やかになってきている。急激な人口増大は、良好な住宅環境維持のためにも望ましいものとは言えず、さらに、保育所、幼稚園、小学校などの都市施設の不足を招き、新たな施設整備は市財政に大きな負担となることから、近年、人口が急増した岩園小学校区、山手小学校区での人口動向に注視していく必要がある。
- (2) 人口推計にあたっては、これまで人口増加の主要因をマンション開発においていたが、岩園小学校区では戸建て住宅の新築や建替えが進行しており、人口増加の要因の一つと考えられるので、今後は戸建て住宅についても調査・検討が必要である。
- (3) コーホート要因法の移動率については、将来とも変化しないものと仮定したが、地域(小学校区)の成長段階によって移動率も変化していくことが予想される。今後は移動率の変化について総合的に検討していく必要がある。
- (4) 少子高齢化の進行に対応するため、今後の年齢構成に留意した施策を展開していくことが必要である。

芦屋市将来人口推計報告書  
平成 22 年 3 月

発 行 芦屋市総務部行政経営課  
〒659-8501 芦屋市精道町 7 番 6 号  
TEL (0797)38-2005  
FAX (0797)31-4841